

亀田医療大学

2014（平成26）年度年報

KAMEDA COLLEGE OF HEALTH SCIENCES

## はじめに

平成 24 年 4 月に新設された、亀田医療大学も、お蔭様で 3 年目を無事終えることができました。これも本学の開設及び運営に当たり、多岐にわたるご支援を頂いている地方公共団体（千葉県、安房郡市（鴨川市・館山市・南房総市・鋸南町）、夷隅郡市（いすみ市・勝浦市・大多喜町・御宿町）、法人、個人（市民）、医療機関等の皆様のお蔭と心から厚く御礼を申し上げます。

おかげさまで、第 3 期生を迎え、学生数 252 名（平成 26 年 5 月 1 日現在）となり、1 期生（平成 24 年度入学生）は実習病院のご支援の下、本格的臨地実習に精力的に取り組んでいます。2 期生（平成 25 年度）は専門科目の履修が本格的となり、後期には、基礎看護学の臨地実習も始まりました。

臨地実習は学生が対象者（患者さま）に向き合う貴重な体験であり、教員も学生も大変緊張する中で、実習施設の臨床指導者や看護師さんたちのご協力と励ましで、とても有意義なものとすることができました。中には、「大変素晴らしいケアを受けた。」といった、患者さまからのうれしいお言葉も頂きました。

また 3 期生である今年の 1 年生にとっては、「先輩がいる」キャンパスの中で、先輩ともども活発に勉学やクラブ活動に励んでおり、キャンパスは年々賑わっています。おかげさまで、11 月に開催された大学祭は天候にも恵まれ、各クラブ活動主催の模擬店を始め、地域の方から寄贈された物品のバザーや教員による公開講座などでにぎわいました。

一方、今年度のオープンキャンパスにおいては、キャンパスと実習病院の見学を組み込んだものや、保護者のためのオープンキャンパスなど、色々の工夫を取り入れ、多くの高校生や保護者を迎えることができました。教員も 37 名と一段と拡充し、先生方には教鞭や学生の指導などに熱心に関わって頂く一方で、銘々の分野における興味深い研究や、科研費の取得、学位論文の執筆及び原著論文の出版も多くみられたことは、新設の大学として、大変誇りに思っております。

また本学の運営に支障の無い範囲での、体育施設の地域スポーツ団体への貸出や大学施設の関係団体等への貸出、「コモンズ鉄蕉館（学生会館）」ミズキホールにおける地域公開講座や映画会などの開講を通じて、地域の人々に今まで以上に親しまれるようになりました。学生会館 1 階の地域の「お母さんたち有志」の御協力による学食「亀ママキッチン」では、学生や教職員が毎日の昼食に舌鼓を打っており、地域の皆様にも気軽にご利用頂いています。

こうして、本学は、開学 3 年目を無事に終了し、今後入学してくる学生や、本学でキャリアを続けていく教職員のために、大学の歴史の基礎をしっかりと固めるよう努力して参りますので、今後とも皆様の厚い御支援と御協力をお願い致します。

平成 27 年 9 月  
亀田医療大学学長 亀田 省吾

## 目次

|                      |      |
|----------------------|------|
| I. 沿革                | P.1  |
| II. 組織図              | P.3  |
| III. 学内行事の概要         | P.4  |
| IV. 教育活動             | P.5  |
| V. 教員の研究教育活動等        | P.15 |
| VI. 平成 27 年度入学生の選抜状況 | P.31 |
| VII. 図書館             | P.32 |
| VIII. 保健室            | P.35 |
| IX. 管理運営             | P.37 |
| X. 財務                | P.59 |
| X I. 教職員名簿           | P.69 |

## I. 沿革

|         |             |  |
|---------|-------------|--|
| 平成 21 年 | 10 月 1 日    | 学校法人鉄蕉館に大学開設準備室を設置                                     |
|         | 11 月 16 日   | 鴨川市に学校跡地活用地域住民説明会の実施                                   |
| 平成 22 年 | 2 月 26 日    | 亀田医療大学設立を応援する会発足                                       |
|         | 3 月 24 日    | 鴨川市議会において土地、建物の無償貸付を可決                                 |
|         | 3 月 30 日    | 房総地域 20 市町村長による千葉県知事に看護系大学の設置に対する財政支援等に関する要望書を提出       |
|         | 4 月 18 日    | 地域における医療者育成を考えるシンポジウム<br>『目指せ 健康長寿 日本一』開催              |
|         | 5 月 19 日    | 亀田医療大学（看護学部看護学科）設置のための寄付金募集活動についての寄附行為の変更認可（千葉県知事）     |
|         | 7 月 1 日・2 日 | 大学校舎建設に伴い大学近隣地域住民に各戸訪問し説明                              |
| 平成 23 年 | 3 月 31 日    | 亀田医療大学設置認可申請、学校法人鉄蕉館寄附行為変更認可申請について千葉県知事に進達依頼（文部科学大臣）   |
|         | 5 月 10 日    | 亀田医療大学校舎建築工事安全祈願祭                                      |
|         | 5 月 16 日    | 校舎等工事着工  |
|         | 7 月 22 日    | 看護師学校等指定申請について千葉県知事に進達依頼（文部科学大臣）                       |
|         | 7 月 29 日    | 学校法人分科会面接審査（文部科学省）                                     |
|         | 8 月 22 日    | 大学設置分科会実地審査  |
|         | 9 月 12 日    | 学校法人分科会実地調査  |
|         | 10 月 24 日   | 亀田医療大学設置認可、大学設置及び法人所在地変更等の寄附行為変更認可（文部科学大臣）             |
|         | 10 月 31 日   | 亀田医療大学看護学部看護学科の看護師学校の指定（平成 24 年 4 月 1 日付け）を受ける（文部科学大臣） |
|         | 11 月 9 日    | 大学設置認可に際し大学近隣地域住民に各戸訪問し資料配布                            |
| 平成 24 年 | 3 月 8 日     | 亀田医療大学校舎建築工事竣工式  |
|         | 3 月 25 日    | 亀田医療大学開学記念式典・セレモニー                                     |
|         | 4 月 1 日     | 亀田医療大学看護学部看護学科開学                                       |
|         | 4 月 5 日     | 平成 24 年度亀田医療大学入学式（第 1 期生 85 名）                         |
| 平成 25 年 | 4 月 1 日     | 亀田医療大学総合研究所 開設   |
|         | 4 月 4 日     | 平成 25 年度亀田医療大学入学式（第 2 期生 79 名）                         |
|         | 4 月 12 日    | 亀ママキッチン（学生食堂）オープン                                      |
|         | 5 月 11 日    | 亀田医療大学学生会館竣工記念式典・記念行事                                  |
|         | 7 月 1 日     | 亀田医療大学生涯学習センター 開設<br>鴨川市と亀田医療大学との相互連携に係る協定書 締結         |
| 平成 26 年 | 4 月 3 日     | 平成 26 年度亀田医療大学入学式（3 期生 91 名）                           |
|         | 6 月 23 日    | 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に                          |

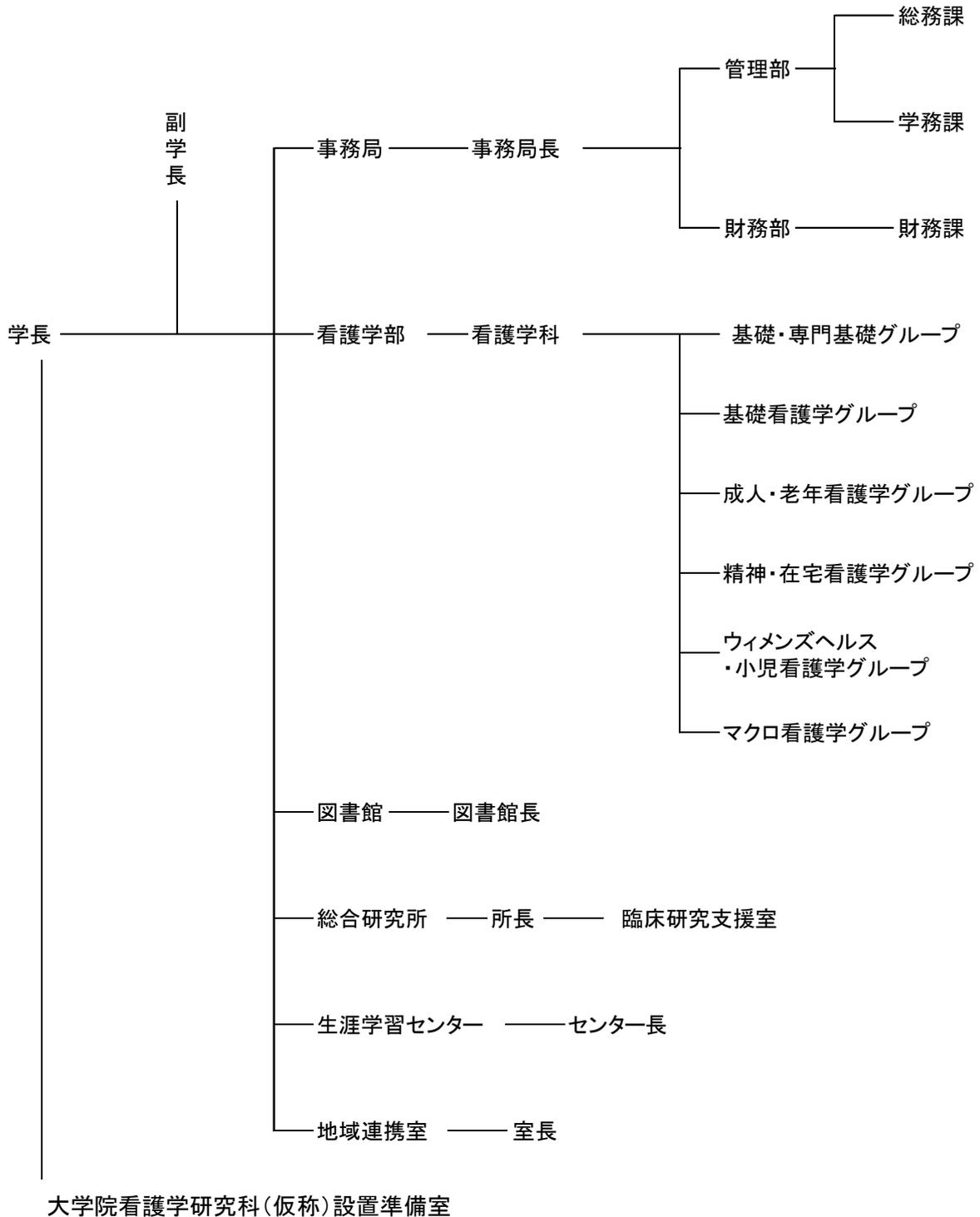
に向けた大学連携に係る協定締結

10月1日 亀田医療大学大学院看護学研究科（仮称）設置準備室 開設

## II. 組織図

平成27年3月31日現在

### 亀田医療大学組織図



### Ⅲ. 学内行事の概要

#### 1) 学年暦・大学行事

| 項 目             |              | 期 日                              |   |              |
|-----------------|--------------|----------------------------------|---|--------------|
|                 |              | 1 年 生                            | 2 年 生   | 3 年 生        |
| 入 学 式           |              | 4 月 4 日 (木)                      | —   | —            |
| 前<br>期          | ガイダンス        | 4 月 4 日 (金)                      |   |              |
|                 | 前期授業開始       | 4 月 7 日 (月)                      |   |              |
|                 | 履修登録・確認期間    | 4 月 7 日 (月) ～ 4 月 18 日 (金)       |   |              |
|                 | 創立記念日        | 5 月 2 日 (金)                      |   |              |
|                 | 前期中間定期試験     | 6 月 13 日 (金)                     |   |              |
|                 | 前期定期試験       | 7 月 29 日 (月) ～ 7 月 31 日 (水)      |   |              |
|                 | 夏期休業         | 自 8 月 1 日 (金)<br>至 9 月 30 日 (火)  | 自 8 月 1 日 (金)<br>至 9 月 15 日 (月)                     |              |
| 前期終了            | 9 月 30 日 (火) | 9 月 15 日 (月)                     |   |              |
| 後<br>期          | 後期授業開始       | 10 月 1 日 (水)                     | 10 月 1 日 (水)  | 9 月 16 日 (火) |
|                 | 履修登録・確認期間    | 10 月 1 日 (水) ～<br>10 月 7 日 (火)   | 10 月 27 日 (月) ～<br>10 月 31 日 (金)                    | —            |
|                 | 大 学 祭        | 11 月 8 日 (土)・11 月 9 日 (日)        |   |              |
|                 | 後期中間定期試験     | 1 月 9 日 (金)                      |   | —            |
|                 | 冬期休業         | 自 12 月 23 日 (火)<br>至 1 月 4 日 (日) | 自 12 月 20 日 (土)<br>至 1 月 12 日 (月)                   |              |
|                 | 後期定期試験       | 2 月 16 日 (月) ～ 2 月 18 日 (水)      |   | —            |
|                 | 春期休業         | 自 2 月 23 日 (月)<br>至 3 月 31 日 (火) | 自 2 月 28 日 (土)<br>至 3 月 31 日 (火)                    |              |
| 国際看護学<br>(海外研修) | —            |                                  | 第1グループ<br>3月2日(月)～6日(金)<br>第2グループ<br>3月9日(月)～13日(金) |              |

実習期間 ○1年生 3月2日(月)～3月6日(金)  
 ○2年生 10月6日(月)～10月24日(金)  
 ○3年生 9月22日(月)～2月27日(金)

## IV. 教育活動

### 1) 授業科目の開設 平成26年度入学生用

| 科目<br>区分  | 授業科目の名称                  | 配<br>当<br>年<br>次 | 単位数    |        |        | 授業形態   |        |                   | (選<br>択<br>科<br>目)<br>履<br>修<br>者<br>数 | 担当教員名<br>(代表者名) |
|---|--------------------------|------------------|--------|--------|--------|--------|--------|-------------------|--|-----------------|
|   |                          |                  | 必<br>修 | 選<br>択 | 自<br>由 | 講<br>義 | 演<br>習 | 実<br>験・<br>実<br>習 |  |                 |
| 人間<br>と<br>人<br>間<br>の<br>理<br>解                              | コミュニケーション・<br>人間関係論      | 1前               | 1      |        |        |        | ○      |                   | 中村 千賀子                                 |                 |
|   | 情報科学                     | 1前               | 1      |        |        |        | ○      |                   | 宮城 孝満                                  |                 |
|   | 文化人類学                    | 1後               | 1      |        |        | ○      |        |                   | 工藤 由美                                  |                 |
|   | ナラティブ表現法                 | 1後               | 1      |        |        |        | ○      |                   | 宮本 眞巳・<br>足立 智孝                        |                 |
|   | 医療人文学                    | 1前               |        | 1      |        | ○      |        | 80                | 足立 智孝                                  |                 |
|   | 哲学                       | 1後               |        | 1      |        | ○      |        | 78                | 高梨 俊毅                                  |                 |
|   | 心理学                      | 1後               |        | 1      |        | ○      |        | 87                | 富安 哲也                                  |                 |
|   | 倫理学                      | 1後               |        | 1      |        | ○      |        | 79                | 足立 智孝                                  |                 |
| リ<br>ベ<br>ラ<br>ル<br>・<br>エ<br>デ<br>ュ<br>ケ<br>ー<br>シ<br>ョ<br>ン | 音楽鑑賞                     | 1後               |        | 1      |        |        | ○      | 46                | 山崎 綾子                                  |                 |
|   | English I (日常会話一<br>初級)  | 1前               | 2      |        |        |        | ○      |                   | James Kelly・<br>Rodney Moore           |                 |
|   | English II (日常会話一<br>中級) | 1後               | 2      |        |        |        | ○      |                   | James Kelly                            |                 |
|   | 中国語 I (日常会話一<br>初級)      | 1前               |        | 1      |        |        | ○      | 80                | 張 玉茵                                   |                 |
| 外<br>国<br>語   | 中国語 II (日常会話一<br>中級)     | 1後               |        | 1      |        |        | ○      | 69                | 張 玉茵                                   |                 |
|   | 家族社会学                    | 1後               | 1      |        |        | ○      |        |                   | 米林 喜男                                  |                 |
|   | 社会福祉学                    | 1後               |        | 1      |        | ○      |        | 58                | 村上 信                                   |                 |
|   | 社会学                      | 1前               |        | 1      |        | ○      |        | 30                | 米林 喜男                                  |                 |
|   | 経済学                      | 1前               |        | 1      |        | ○      |        | 37                | 黒木 祥弘                                  |                 |
|   | 国際理解と国際貢献                | 1前               | 1      |        |        |        | ○      |                   | 工藤 由美・<br>米林 喜男・<br>水野 左敏              |                 |
| 環<br>境  | ホスピタルアート                 | 1前               |        | 1      |        | ○      | ○      | 13                | 高橋 文子・<br>佐野 江美子                       |                 |
|   | 化学                       | 1前               | 1      |        |        | ○      |        |                   | 水野 左敏                                  |                 |
|   | 統計学                      | 1前               |        | 1      |        | ○      |        | 89                | 片多 史明                                  |                 |
| 健<br>康<br>科<br>学<br>I   | セルフヘルス<br>プロモーション        | 1前               | 1      |        |        | ○      |        |                   | 村永 信吾                                  |                 |

|               |               |                   |                            |     |    |    |      |    |          |                    |                  |   |        |
|---------------|---------------|-------------------|----------------------------|-----|----|----|------|----|----------|--------------------|------------------|---|--------|
| リベラル・エデュケーション |               | 生物学               | 1 前                        | 1   |    |    |      | ○  |          |                    |                  | 鈴木 康直                                       |        |
|               |               | 物理学               | 1 前                        |     | 1  |    | ○    |    |          | 11                 |                  | 大野 直次                                       |        |
|               |               | 体育                | 1 通                        |     | 1  |    |      |    | ○        | 69                 |                  | 大澤 有美子・<br>宮本 留美                            |        |
|               | ゼミナール         |                   | 基礎ゼミナールⅠ<br>(アーリーイクスポージャー) | 1 前 | 1  |    |      |    | ○        |                    |                  |   | 小幡 光子  |
|               |               |                   | 基礎ゼミナールⅡ                   | 1 後 | 1  |    |      |    | ○        |                    |                  |   | 深谷 智恵子 |
|               |               | 小計(27 科目)         |                            | —   | 15 | 14 | 0    |    | —        |                    |                  |   |        |
| 基礎専門分野        | 科目<br>区分      | 授業科目の名称           | 配<br>当<br>年<br>次           | 単位数 |    |    | 授業形態 |    |          | (選<br>択<br>科<br>目) | 履<br>修<br>者<br>数 | 担<br>当<br>教<br>員<br>名<br>(代<br>表<br>者<br>名) |        |
|               |               |                   |                            | 必修  | 選択 | 自由 | 講義   | 演習 | 実験<br>実習 |                    |                  |   |        |
|               | 健康<br>科学<br>Ⅱ |                   | 発達心理学                      | 1 後 | 2  |    |      | ○  |          |                    |                  | 平原 憲道                                       |        |
|               |               |                   | 人間機能学(形態と機能)               | 1 後 | 4  |    |      | ○  |          |                    |                  | 河野 俊彦・<br>千場 良司・<br>大石 昌也                   |        |
|               |               |                   | 人間病態学Ⅰ(病気の<br>成り立ち)        | 1 後 | 3  |    |      | ○  |          |                    |                  | 大石 昌也                                       |        |
|               | 小計(3 科目)      |                   | —                          | 9   | 0  | 0  |      | —  |          |                    |                  |   |        |
| 専門<br>分野<br>Ⅰ | 基礎<br>看護<br>学 |                   | 看護学概論                      | 1 前 | 2  |    |      | ○  |          |                    |                  | 休波 茂子                                       |        |
|               |               |                   | 基礎看護技術論                    | 1 後 | 1  |    |      | ○  |          |                    |                  | 休波 茂子                                       |        |
|               |               |                   | 日常生活援助論                    | 1 後 | 2  |    |      |    | ○        |                    |                  | 佐久間 夕美子・<br>休波 茂子・<br>有家 香・<br>鶴沢 淳子        |        |
|               |               |                   | 基礎看護学臨地実習<br>Ⅰ             | 1 後 | 1  |    |      |    |          | ○                  |                  | 休波 茂子                                       |        |
|               |               | 小計(4 科目)          |                            | —   | 6  | 0  | 0    |    | —        |                    |                  |   |        |
| 統合<br>分野      | 看護学<br>マクロ    | 看護の統合と実践Ⅰ<br>(序論) | 1 前                        | 1   |    |    | ○    |    |          |                    |                  | 宮本 眞巳                                       |        |
|               |               | 小計(1 科目)          |                            | —   | 1  | 0  | 0    |    | —        |                    |                  |   |        |
| 合計(35 科目)     |               |                   |                            | —   | 31 | 14 | 0    |    | —        |                    |                  |   |        |

2) 授業科目の開設 平成 25 年度入学生用

| 科目<br>区分  | 授業科目の名称               | 配当<br>年次 | 単位数    |        |        | 授業形態   |        |                   | (選<br>択<br>科<br>目) | 履<br>修<br>者<br>数 | 担<br>当<br>教<br>員<br>名<br>(代<br>表<br>者<br>名) |
|---|-----------------------|----------|--------|--------|--------|--------|--------|-------------------|--------------------|------------------|---|
|   |                       |          | 必<br>修 | 選<br>択 | 自<br>由 | 講<br>義 | 演<br>習 | 実<br>験・<br>実<br>習 |                    |                  |   |
| リ<br>ベ<br>ラ<br>ル<br>・<br>エ<br>デ<br>ュ<br>ケ<br>ー<br>シ<br>ョ<br>ン | 人間と人間の理解              | 1 前      | 1      |        |        |        |        | ○                 |                    |                  | 中村 千賀子                                      |
|   | コミュニケーション・人間関係論       | 1 前      | 1      |        |        |        |        | ○                 |                    |                  | 宮城 孝満                                       |
|   | 情報科学                  | 1 前      | 1      |        |        |        |        | ○                 |                    |                  | 工藤 由美                                       |
|   | 文化人類学                 | 1 後      | 1      |        |        |        | ○      |                   |                    |                  | 宮本 眞巳・<br>足立 智孝                             |
|   | ナラティブ表現法              | 1 後      | 1      |        |        |        |        | ○                 |                    |                  | 足立 智孝                                       |
|   | 生命倫理学                 | 2 後      | 1      |        |        |        | ○      |                   |                    |                  | 足立 智孝                                       |
|   | 医療人文学                 | 1 前      |        | 1      |        |        | ○      |                   |                    |                  | 足立 智孝                                       |
|   | 哲学                    | 1 後      |        | 1      |        |        | ○      |                   |                    |                  | 高梨 俊毅                                       |
|   | 心理学                   | 1 後      |        | 1      |        |        | ○      |                   |                    |                  | 富安 哲也                                       |
|   | 倫理学                   | 1 後      |        | 1      |        |        | ○      |                   |                    |                  | 足立 智孝                                       |
|   | 音楽鑑賞                  | 1 後      |        | 1      |        |        |        | ○                 |                    |                  | 山崎 綾子                                       |
| オルターナティブセラピー  | 1 通                   |          |        | 1      |        |        |        | ○                 |                    | 高橋 文子            |   |
| 生涯教育論   | 2 後                   |          |        | 1      |        |        | ○      |                   | 15                 | 高梨 俊毅            |   |
| 外<br>国<br>語   | English I (日常会話―初級)   | 1 前      | 2      |        |        |        |        | ○                 |                    |                  | James Kelly・<br>Rodney Moore                |
|   | English II (日常会話―中級)  | 1 後      | 2      |        |        |        |        | ○                 |                    |                  | James Kelly                                 |
|   | 中国語 I (日常会話―初級)       | 1 前      |        | 1      |        |        |        | ○                 |                    |                  | 張 玉菡  |
|   | 中国語 II (日常会話―中級)      | 1 後      |        | 1      |        |        |        | ○                 |                    |                  | 張 玉菡  |
|   | English III (日常会話―一般) | 2 後      |        |        | 1      |        |        |                   | ○                  | 17               | 大山 中勝                                       |
|   | 看護英語                  | 2 前      |        |        | 1      |        |        |                   | ○                  | 27               | 大山 中勝                                       |
| 環<br>境  | 家族社会学                 | 1 後      | 1      |        |        |        | ○      |                   |                    |                  | 米林 喜男                                       |
|   | 社会福祉学                 | 1 後      |        | 1      |        |        | ○      |                   |                    |                  | 村上 信  |
|   | 医療安全                  | 2 前      | 1      |        |        |        |        | ○                 |                    |                  | 渡邊 八重子・<br>休波 茂子                            |
|   | 社会学                   | 1 前      |        | 1      |        |        | ○      |                   |                    |                  | 米林 喜男                                       |
|   | 経済学                   | 1 前      |        | 1      |        |        | ○      |                   |                    |                  | 黒木 祥弘                                       |

|               |          |                             |                  |     |    |    |      |    |          |                    |                  |   |
|---------------|----------|-----------------------------|------------------|-----|----|----|------|----|----------|--------------------|------------------|---|
| リベラル・エデュケーション |          | 国際理解と国際貢献                   | 1前               | 1   |    |    |      | ○  |          |                    |                  | 工藤 由美・<br>米林 喜男・<br>水野 左敏                   |
|               |          | 南房総の歴史と未来                   | 2後               |     | 1  |    |      | ○  |          | 16                 |                  | 古市 一雄                                       |
|               | 健康科学 I   | 化学                          | 1前               | 1   |    |    |      | ○  |          |                    |                  | 水野 左敏                                       |
|               |          | 統計学                         | 1前               |     | 1  |    |      | ○  |          |                    |                  | 片多 史明                                       |
|               |          | セルフヘルス<br>プロモーション           | 1前               | 1   |    |    |      | ○  |          |                    |                  | 村永 信吾                                       |
|               |          | 生物学                         | 1前               | 1   |    |    |      | ○  |          |                    |                  | 鈴木 康宣                                       |
|               |          | 物理学                         | 1前               |     | 1  |    |      | ○  |          |                    |                  | 大野 直次                                       |
|               |          | 体育                          | 1通               |     | 1  |    |      |    |          | ○                  |                  | 大澤 有美子・<br>宮本 留美                            |
|               | ゼミナール    | 基礎ゼミナール I<br>(アーリーイクスポジチャー) | 1前               | 1   |    |    |      |    | ○        |                    |                  | 小幡 光子                                       |
|               |          | 基礎ゼミナール II                  | 1後               | 1   |    |    |      |    | ○        |                    |                  | 深谷 智恵子                                      |
| 基礎ゼミナール III   |          | 2前                          | 1                |     |    |    |      | ○  |          |                    | 吉川 一枝            |   |
|               | 小計(34科目) | —                           | 18               | 18  | 0  |    |      | —  |          |                    |                  |   |
| 基礎専門分野        | 科目<br>区分 | 授業科目の名称                     | 配<br>当<br>年<br>次 | 単位数 |    |    | 授業形態 |    |          | (選<br>択<br>科<br>目) | 履<br>修<br>者<br>数 | 担<br>当<br>教<br>員<br>名<br>(代<br>表<br>者<br>名) |
|               |          |                             |                  | 必修  | 選択 | 自由 | 講義   | 演習 | 実験<br>実習 |                    |                  |   |
|               | 健康科学 II  | 発達心理学                       | 1後               | 2   |    |    |      | ○  |          |                    |                  | 平原 憲道                                       |
|               |          | 疫学                          | 2後               | 1   |    |    |      | ○  |          |                    |                  | 水野 左敏                                       |
|               |          | 保健統計                        | 2後               | 1   |    |    |      | ○  |          |                    |                  | 水野 左敏                                       |
|               |          | 健康支援と社会保障<br>制度             | 2後               | 2   |    |    |      | ○  |          |                    |                  | 米林 喜男                                       |
|               |          | 人間機能学(形態と機能)                | 1後               | 4   |    |    |      | ○  |          |                    |                  | 河野 俊彦・<br>千場 良司・<br>大石 昌也                   |
|               |          | 人間病態学 I (病気の<br>成り立ち)       | 1後               | 3   |    |    |      | ○  |          |                    |                  | 大石 昌也                                       |
|               |          | 人間病態学 II (感染と<br>免疫学)       | 2前               | 3   |    |    |      | ○  |          |                    |                  | 細川 直登・<br>大石 昌也                             |
|               |          | 栄養・生化学                      | 2後               | 2   |    |    |      | ○  |          |                    |                  | 鈴木 勝彦                                       |
| 臨床薬理学 I (基礎)  | 2前       | 2                           |                  |     |    | ○  |      |    |          | 佐々木 忠徳             |                  |   |
|               | 小計(9科目)  | —                           | 20               | 0   | 0  |    |      | —  |          |                    |                  |   |

| 科目<br>区分 | 授業科目の名称   | 配当年次              | 単位数 |    |    | 授業形態 |    |          | (選択科目)<br>履修者数 | 担当教員名<br>(代表者名)   |
|----------|-----------|-------------------|-----|----|----|------|----|----------|----------------|---|
|          |           |                   | 必修  | 選択 | 自由 | 講義   | 演習 | 実験<br>実習 |                |   |
| 専門分野 I   | 基礎看護学     | 看護学概論             | 1 前 | 2  |    |      | ○  |          |                | 休波 茂子   |
|          |           | 基礎看護技術論           | 1 後 | 1  |    |      | ○  |          |                | 休波 茂子   |
|          |           | 日常生活援助論           | 2 前 | 2  |    |      |    | ○        |                | 佐久間 夕美子・<br>休波 茂子・<br>有家 香・<br>鶴沢 淳子                        |
|          |           | 治療援助論             | 2 前 | 1  |    |      |    | ○        |                | 鶴沢 淳子・<br>休波 茂子・<br>佐久間 夕美子・<br>有家 香                        |
|          |           | 看護展開論Ⅰ(ナーシングプロセス) | 2 前 | 2  |    |      | ○  |          |                | 休波 茂子・<br>渡邊 八重子  |
|          |           | 看護展開論Ⅱ(ヘルスアセスメント) | 2 前 | 2  |    |      |    | ○        |                | 休波 茂子・<br>クローズ 幸子・<br>佐久間 夕美子・<br>渡邊 八重子・<br>有家 香・<br>鶴沢 淳子 |
|          |           | 基礎看護学臨地実習         | 2 後 | 3  |    |      |    |          | ○              | 休波 茂子   |
|          | 小計(7科目)   |                   | —   | 13 | 0  | 0    | —  |          |                |   |
| 専門分野 II  | ライフスパン看護学 | 成人看護学概論           | 2 後 | 2  |    |      | ○  |          |                | 小幡 光子   |
|          |           | 慢性期成人看護援助論        | 2 後 | 2  |    |      |    | ○        |                | 真野 響子・<br>高橋 道明   |
|          |           | 高齢者看護学概論          | 2 後 | 2  |    |      | ○  |          |                | 新田 静江・<br>新居 富士美  |
|          |           | 精神保健看護学概論         | 2 後 | 2  |    |      | ○  |          |                | 太田 知子   |
|          | 小児保健看護学   | ウィメンズヘルス看護学概論     | 2 後 | 2  |    |      | ○  |          |                | 惠美須 文枝  |
|          |           | 小児保健看護学概論         | 2 後 | 2  |    |      | ○  |          |                | 吉川 一枝   |
| 小計(6科目)  |           | —                 | 22  | 0  | 0  | —    |    |          |                |   |
| 統合分野     | 看護学マクロ    | 看護の統合と実践Ⅰ(序論)     | 1 前 | 1  |    |      | ○  |          |                | 宮本 眞巳   |
|          |           | 小計(1科目)           |     | —  | 1  | 0    | 0  | —        |                |   |
| 合計(57科目) |           |                   | —   | 74 | 18 | 0    | —  |          |                |   |

3) 授業科目の開設 平成 24 年度入学生用

| 科目<br>区分  | 授業科目の名称                   | 配<br>当<br>年<br>次 | 単位数    |        |        | 授業形態   |        |                   | (選<br>択<br>科<br>目) | 履<br>修<br>者<br>数             | 担<br>当<br>教<br>員<br>名<br>(代<br>表<br>者<br>名) |
|---|---------------------------|------------------|--------|--------|--------|--------|--------|-------------------|--------------------|------------------------------|---|
|   |                           |                  | 必<br>修 | 選<br>択 | 自<br>由 | 講<br>義 | 演<br>習 | 実<br>験・<br>実<br>習 |                    |                              |   |
| 人間<br>と<br>人<br>間<br>の<br>理<br>解                              | コミュニケーション・<br>人間関係論       | 1 前              | 1      |        |        |        | ○      |                   |                    | 中村 千賀子                       |   |
|   | 情報科学                      | 1 前              | 1      |        |        |        | ○      |                   |                    | 宮城 孝満                        |   |
|   | 文化人類学                     | 1 後              | 1      |        |        | ○      |        |                   |                    | 工藤 由美                        |   |
|   | ナラティブ表現法                  | 1 後              | 1      |        |        |        | ○      |                   |                    | 宮本 眞巳・<br>足立 智孝              |   |
|   | 生命倫理学                     | 2 後              | 1      |        |        | ○      |        |                   |                    | 足立 智孝                        |   |
|   | 医療人文学                     | 1 前              |        | 1      |        | ○      |        |                   |                    | 足立 智孝                        |   |
|   | 哲学                        | 1 後              |        | 1      |        | ○      |        |                   |                    | 高梨 俊毅                        |   |
|   | 心理学                       | 1 後              |        | 1      |        | ○      |        |                   |                    | 富安 哲也                        |   |
|   | 倫理学                       | 1 後              |        | 1      |        | ○      |        |                   |                    | 足立 智孝                        |   |
|   | 音楽鑑賞                      | 1 後              |        | 1      |        |        | ○      |                   |                    | 山崎 綾子                        |   |
|   | オルターナティブ<br>セラピー          | 1 通              |        | 1      |        |        | ○      |                   |                    | 高橋 文子                        |   |
|   | 生涯教育論                     | 2 後              |        | 1      |        | ○      |        |                   |                    | 高梨 俊毅                        |   |
|   | スピリチュアリティ                 | 3 前              |        | 1      |        | ○      |        |                   | 25                 | 瀬良 信勝                        |   |
| リ<br>ベ<br>ラ<br>ル<br>・<br>エ<br>デ<br>ユ<br>ケ<br>ー<br>シ<br>ョ<br>ン | English I (日常会話一<br>初級)   | 1 前              | 2      |        |        |        | ○      |                   |                    | James Kelly・<br>Rodney Moore |   |
|   | English II (日常会話一<br>中級)  | 1 後              | 2      |        |        |        | ○      |                   |                    | James Kelly                  |   |
|   | 中国語 I (日常会話一<br>初級)       | 1 前              |        | 1      |        |        | ○      |                   |                    | 張 玉茵                         |   |
|   | 中国語 II (日常会話一<br>中級)      | 1 後              |        | 1      |        |        | ○      |                   |                    | 張 玉茵                         |   |
|   | English III (日常会話一<br>一般) | 2 後              |        | 1      |        |        | ○      |                   |                    | 大山 中勝                        |   |
|   | 看護英語                      | 2 前              |        | 1      |        |        | ○      |                   |                    | 大山 中勝                        |   |
|   | 論文の書き方(英語)                | 3 前              |        | 1      |        |        | ○      |                   | 18                 | 足立 智孝                        |   |
| 環<br>境  | 家族社会学                     | 1 後              | 1      |        |        | ○      |        |                   |                    | 米林 喜男                        |   |
|   | 社会福祉学                     | 1 後              |        | 1      |        | ○      |        |                   |                    | 村上 信                         |   |
|   | 医療安全                      | 2 前              | 1      |        |        |        | ○      |                   |                    | 渡邊 八重子・<br>休波 茂子             |   |
|   | 社会学                       | 1 前              |        | 1      |        | ○      |        |                   |                    | 米林 喜男                        |   |
|   | 経済学                       | 1 前              |        | 1      |        | ○      |        |                   |                    | 黒木 祥弘                        |   |

|               |          |                           |                  |     |    |    |      |    |          |                    |                  |   |
|---------------|----------|---------------------------|------------------|-----|----|----|------|----|----------|--------------------|------------------|---|
| リベラル・エデュケーション |          | 国際理解と国際貢献                 | 1前               | 1   |    |    |      | ○  |          |                    |                  | 工藤 由美・<br>米林 喜男・<br>水野 左敏                   |
|               |          | 南房総の歴史と未来                 | 2後               |     | 1  |    | ○    |    |          |                    |                  | 古市 一雄                                       |
|               |          | ホスピタルアート                  | 3前               |     | 1  |    | ○    | ○  |          | 9                  |                  | 高橋 文子・<br>佐野 江美子                            |
|               | 健康科学 I   | 化学                        | 1前               | 1   |    |    | ○    |    |          |                    |                  | 水野 左敏                                       |
|               |          | 統計学                       | 1前               |     | 1  |    | ○    |    |          |                    |                  | 片多 史明                                       |
|               |          | セルフヘルス<br>プロモーション         | 1前               | 1   |    |    | ○    |    |          |                    |                  | 村永 信吾                                       |
|               |          | 生物学                       | 1前               | 1   |    |    |      | ○  |          |                    |                  | 鈴木 康宣                                       |
|               |          | 物理学                       | 1前               |     | 1  |    | ○    |    |          |                    |                  | 大野 直次                                       |
|               |          | 体育                        | 1通               |     | 1  |    |      |    |          | ○                  |                  | 大澤 有美子・<br>宮本 留美                            |
|               | ゼミナール    | 基礎ゼミナール I<br>(アリーイクスホージャ) | 1前               | 1   |    |    |      |    | ○        |                    |                  | 小幡 光子                                       |
|               |          | 基礎ゼミナール II                | 1後               | 1   |    |    |      |    | ○        |                    |                  | 深谷 智恵子                                      |
|               |          | 基礎ゼミナール III               | 2前               | 1   |    |    |      |    | ○        |                    |                  | 吉川 一枝                                       |
|               |          | 小計(37科目)                  | —                | 18  | 21 | 0  |      |    | —        |                    |                  |   |
| 基礎専門分野        | 科目<br>区分 | 授業科目の名称                   | 配<br>当<br>年<br>次 | 単位数 |    |    | 授業形態 |    |          | (選<br>択<br>科<br>目) | 履<br>修<br>者<br>数 | 担<br>当<br>教<br>員<br>名<br>(代<br>表<br>者<br>名) |
|               |          |                           |                  | 必修  | 選択 | 自由 | 講義   | 演習 | 実験<br>実習 |                    |                  |   |
|               | 健康科学 II  | 発達心理学                     | 1後               | 2   |    |    |      | ○  |          |                    |                  | 平原 憲道                                       |
|               |          | 疫学                        | 2後               | 1   |    |    |      | ○  |          |                    |                  | 水野 左敏                                       |
|               |          | 保健統計                      | 2後               | 1   |    |    |      | ○  |          |                    |                  | 水野 左敏                                       |
|               |          | 健康支援と社会保障<br>制度           | 2後               | 2   |    |    |      | ○  |          |                    |                  | 米林 喜男                                       |
|               |          | 人間機能学(形態と機能)              | 1後               | 4   |    |    |      | ○  |          |                    |                  | 河野 俊彦・<br>千場 良司・<br>大石 昌也                   |
|               |          | 人間病態学 I (病気の<br>成り立ち)     | 1後               | 3   |    |    |      | ○  |          |                    |                  | 大石 昌也                                       |
|               |          | 人間病態学 II (感染と<br>免疫学)     | 2前               | 3   |    |    |      | ○  |          |                    |                  | 細川 直登・<br>大石 昌也                             |
|               |          | 栄養・生化学                    | 2後               | 2   |    |    |      | ○  |          |                    |                  | 鈴木 勝彦                                       |
|               |          | 臨床薬理学 I (基礎)              | 2前               | 2   |    |    |      | ○  |          |                    |                  | 佐々木 忠徳                                      |
|               |          | 臨床薬理学 II (応用)             | 3前               | 1   |    |    |      |    | ○        |                    |                  | 佐々木 忠徳                                      |
|               | 小計(10科目) | —                         | 21               | 0   | 0  |    |      | —  |          |                    |                  |   |

| 科目<br>区分 | 授業科目の名称   | 配当年次              | 単位数 |    |    | 授業形態 |    |          | (選択科目)<br>履修者数 | 担当教員名<br>(代表者名)   |
|----------|-----------|-------------------|-----|----|----|------|----|----------|----------------|---|
|          |           |                   | 必修  | 選択 | 自由 | 講義   | 演習 | 実験<br>実習 |                |   |
| 専門分野 I   | 基礎看護学     | 看護学概論             | 1 前 | 2  |    |      | ○  |          |                | 休波 茂子   |
|          |           | 基礎看護技術論           | 1 後 | 1  |    |      | ○  |          |                | 休波 茂子   |
|          |           | 日常生活援助論           | 2 前 | 2  |    |      |    | ○        |                | 佐久間 夕美子・<br>休波 茂子・<br>有家 香・<br>鶴沢 淳子                        |
|          |           | 治療援助論             | 2 前 | 1  |    |      |    | ○        |                | 鶴沢 淳子・<br>休波 茂子・<br>佐久間 夕美子・<br>有家 香                        |
|          |           | 看護展開論Ⅰ(ナーシングプロセス) | 2 前 | 2  |    |      | ○  |          |                | 休波 茂子・<br>渡邊 八重子  |
|          |           | 看護展開論Ⅱ(ヘルスアセスメント) | 2 前 | 2  |    |      |    | ○        |                | 休波 茂子・<br>クローズ 幸子・<br>佐久間 夕美子・<br>渡邊 八重子・<br>有家 香・<br>鶴沢 淳子 |
|          |           | 基礎看護学臨地実習         | 2 後 | 3  |    |      |    |          | ○              | 休波 茂子   |
|          | 小計(7科目)   | —                 | 13  | 0  | 0  | —    |    |          |                |   |
| 専門分野 II  | ライフスパン看護学 | 成人看護学概論           | 2 後 | 2  |    |      | ○  |          |                | 小幡 光子   |
|          |           | 慢性期成人看護援助論        | 2 後 | 2  |    |      |    | ○        |                | 真野 響子・<br>高橋 道明   |
|          |           | 急性期成人看護援助論        | 3 前 | 2  |    |      |    | ○        |                | 小幡 光子・<br>深谷 智恵子・<br>佐藤 真由美・<br>高橋 道明                       |
|          |           | 高齢者看護学概論          | 2 後 | 2  |    |      | ○  |          |                | 新田 静江・<br>新居 富士美  |
|          |           | 高齢者看護援助論          | 2 後 | 2  |    |      |    | ○        |                | 新居 富士美・<br>小林 美奈子   |
|          |           | 精神保健看護学概論         | 2 後 | 2  |    |      | ○  |          |                | 太田 知子   |
|          |           | 精神保健看護援助論         | 3 前 | 2  |    |      |    | ○        |                | 太田 知子   |
|          |           | 在宅看護学Ⅰ            | 3 前 | 3  |    |      | ○  | ○        |                | 新田 静江・<br>栗栖 千幸・<br>中島 洋一・<br>平山 香代子                        |

|                        |             |                    |          |    |   |   |   |   |  |   |
|------------------------|-------------|--------------------|----------|----|---|---|---|---|--|---|
| 専<br>門<br>分<br>野<br>II | ライフスパン看護学実習 | 在宅看護学Ⅱ(ターミナルケア)    | 3前       | 1  |   |   | ○ |   |  | 真野 響子・<br>新田 静江・<br>小林 美奈子                      |
|                        |             | 成人看護学臨地実習Ⅰ(慢性期)    | 3後       | 3  |   |   |   | ○ |  | 真野 響子・<br>佐藤 真由美・<br>高橋 道明                      |
|                        |             | 成人看護学臨地実習Ⅱ(急性期)    | 3後       | 3  |   |   |   | ○ |  | 小幡 光子<br>深谷 智恵子・<br>佐藤 真由美・<br>高橋 道明            |
|                        |             | 高齢者看護学臨地実習Ⅰ        | 3後       | 1  |   |   |   | ○ |  | 新居 富士美・<br>中島 洋一                                |
|                        |             | 高齢者看護学臨地実習Ⅱ(リハビリ期) | 3後       | 3  |   |   |   | ○ |  | 小林 美奈子・<br>新田 静江                                |
|                        |             | 精神保健看護学臨地実習        | 3後       | 2  |   |   |   | ○ |  | 太田 知子・<br>松丸 直美・<br>柚山 香世子                      |
|                        |             | 在宅看護学臨地実習          | 3後       | 2  |   |   |   | ○ |  | 新田 静江・<br>真野 響子・<br>栗栖 千幸・<br>小林 美奈子・<br>平山 香代子 |
|                        | 小児保健看護学・実習  | ウィメンズヘルス看護学        | 概論       | 2後 | 2 |   |   | ○ |  | 恵美須 文枝  |
|                        |             |                    | 周産期看護援助論 | 3前 | 2 |   |   | ○ |  | 久保 幸代   |
|                        |             | ウィメンズヘルス看護学        | 3後       | 2  |   |   |   | ○ |  | 恵美須 文枝・<br>久保 幸代・<br>金澤 貴子・<br>前田 広美            |
|                        |             | 小児保健看護学            | 2後       | 2  |   |   | ○ |   |  | 吉川 一枝   |
|                        |             | 小児保健看護学            | 3前       | 2  |   |   |   | ○ |  | 東 晴美  |
|                        |             | 小児保健看護学            | 3後       | 2  |   |   |   | ○ |  | 吉川 一枝・<br>東 晴美・<br>吉野 妙子                        |
| 小計(21科目)               |             | —                  | 44       | 0  | 0 | — |   |   |  |   |

| 科目<br>区分 | 授業科目の名称 | 配当年次               | 単位数 |    |    | 授業形態 |    |          | (選択科目)<br>履修者数 | 担当教員名<br>(代表者名)                       |
|----------|---------|--------------------|-----|----|----|------|----|----------|----------------|---------------------------------------|
|          |         |                    | 必修  | 選択 | 自由 | 講義   | 演習 | 実験<br>実習 |                |                                       |
| 統合分野     | マクロ看護学  | 国際看護学              | 3前  | 2  |    |      | ○  | ○        |                | クローズ 幸子・<br>新田 静江・<br>工藤 由美・<br>中島 洋一 |
|          |         | 看護の統合と実践 I<br>(序論) | 1前  | 1  |    |      | ○  |          |                | 宮本 眞巳                                 |
|          |         | 看護研究               | 3前  | 2  |    |      | ○  |          |                | 宮本 眞巳・<br>栗栖 千幸                       |
|          |         | 看護倫理               | 3前  | 1  |    |      |    | ○        |                | 小幡 光子                                 |
|          |         | 災害看護学              | 3前  | 1  |    |      |    | ○        |                | 小原 真理子                                |
|          | 小計(5科目) | —                  | 7   | 0  | 0  |      | —  |          |                |                                       |
| 合計(80科目) |         | —                  | 103 | 21 | 0  |      | —  |          |                |                                       |

## V. 教員の研究教育活動等

### 惠美須 文枝

#### 原著論文

- ・大崎博子、志村千鶴子、惠美須文枝（2014）：助産教員が分娩解除実習指導者に求める能力 日本助産学会誌、**28** (2)、pp.196-206
- ・勝村友紀、神谷摂子、惠美須文枝（2014）：不妊治療を受けて妊娠した女性の第1子妊娠期から産褥期・育児期までの体験 日本助産学会誌、**28** (2)、218-228

#### 研究助成及び研究活動報告

- ・平成25年度文部科学省科学研究費助成事業（基盤研究C）研究課題番号25463353、看護大学と臨床における労働時間の「等価交換」による連携・協同システムの構築、久保幸代（研究代表者）、栗栖千幸（研究協力者）、惠美須文枝（同）、金澤貴子（同）、鈴木享子（同）、巖 千晶（同）、渡邊麻実（同）、熊沢美奈好（同）、前田弘美（同）
- ・平成25年度亀田医療大学学長裁量特別研究費 金澤貴子(代表者)、久保幸代、惠美須文枝(共同研究者)、OLSO コース開催に向けての調査研究

#### 学会等社会貢献

- ・日本看護学教育学会査読委員 H24～
- ・日本保健科学学会評議員 H21～
- ・日本助産評価機構 評議員 H26.10～
- ・全国助産師教育協議会 研修センター運営委員会委員
- ・全国助産師教育協議会 研修センター非常勤講師「助産教育課程Ⅱ」（6時間）「助産教育課程演習」（20時間）
- ・「産後サポート in 荒川」代表 H18.10～
- ・東京都荒川区顧問 H20.4～ 次世代育成委員会委員 H24.4～

### 太田 知子

#### 学会等社会貢献

- ・日本精神科看護協会 学術集会 査読委員 H21～
- ・安房地域精神障害者地域移行支援事業協議会 構成員
- ・千葉県精神保健福祉協議会研修会 講師「精神科看護の変遷」 H27.3
- ・鴨川市精神障害者家族会（月1回開催） アドバイザー

### 小幡 光子

#### 学会発表

- ・高橋静子、完戸香、夏目隆史、小幡光子（2014）：「医療事故の体験が看護師長のリスクマネジメントの役割行動にもたらす認識の変化」、第45回日本看護学会看護管理学術集会（宮崎）

#### 研究助成及び研究活動報告

- ・平成22年度文部科学省科学研究費補助金（基盤C）課題番号22592441、研究成果報告書 平成26年6月、ICU病棟におけるクリティカルケア看護のエスノグラフィー、小幡光子（研究代表

者)

- ・日本看護系大学協議会「看護学教育質向上委員会」「看護系大学における教育と臨床（地）の連携強化に向けた取り組みに関する研究」平成26年度事業活動報告書 平成26年3月 村嶋幸代(研究代表者)、飯野京子(研究分担者)、小幡光子(同)、祖父江育子(同)、宮本千津子(同)、和住淑子(同)、植田みゆき(同)

## 学会等社会貢献

- ・日本看護研究学会 査読委員 H24.4～
- ・日本看護系大学協議会 専門看護師教育課程認定委員会クリティカルケア看護専門分科会委員 H25.4～
- ・日本看護系大学協議会 看護の質向上委員会委員 H25.4～
- ・亀田総合病院看護部研修「看護倫理」H27.1 講師

## 吉川 一枝

### 著書

- ・丹羽登、加藤忠明、副島賢和、吉川一枝、武田哲郎、五十嵐隆、花井敏男、赤木禎治、稲田浩子、横田俊平、雨宮伸、島緑倫、寺本淳、田中英高(2014)：慢性疾患の子どもたちの学校生活 228 (担当頁 pp.54-71) 慶應義塾大学出版会

## 新田 静江

### 原著論文

- ・菅沼真由美、新田静江 (2014)：認知症高齢者の女性介護者に対する家族介護者間交流プログラムの効果、老年看護学会、**19** (1)、81-89.

### 学会発表

- ・菅沼真由美、新田静江、谷口珠美、東福寺愛実 (2014)：連携ノートを利用した要介護高齢者の終末期医療・介護への意思表示の実態、日本老年看護学会第19回学術集会 (名古屋市)
- ・半田美保、新田静江 (2014)：療養病床で高齢者と死別した配偶者が認識している終末期患者ケアと死別後悲嘆の関連、日本老年看護学会第19回学術集会 (名古屋市)
- ・野中和美、新田静江 (2014)：高齢者施設介護職員への排尿研修の入居者における排尿状態改善効果、日本老年看護学会第19回学術集会 (名古屋市)
- ・菅沼真由美、新田静江、谷口珠美、東福寺愛実 (2014)：ケアマネージャーによる連携ノートを活用した要介護高齢者の終末期医療・介護への意向確認の実態、第34回日本看護科学学会学術集会 (名古屋)

## 学会等社会貢献

- ・日本看護科学学会 専任査読者 H15.10～
- ・山梨県高齢者権利擁護等推進部会 部会長 H23～
- ・山梨県高齢者権利擁護等推進員養成研修会講師 H23～
- ・山梨大学大学院医学工学総合研究部 非常勤講師 H25～
- ・鴨川地域医療連携会議委員 H25～
- ・亀田総合病院地域連携室会議委員 H25～
- ・安房地域難病相談・支援センター 介護職員等の喀痰吸引等研修 講師 H26.4、H26.7

- ・鴨川市通所サービス事業所連絡協議会研修 講師「通所サービスにおける排泄ケアを考える」 H26.6
- ・亀田総合病院看護部研修「看護研究」講師 H26.10～H26.1
- ・鴨川市立長狭学園講義「高齢者を知ろう！老化とは？加齢に伴う心身の特徴」 H26.11
- ・鴨川市通所サービス連絡協議会講師「通所サービスにおける男性利用者について考える」 H27.2

## **深谷 智恵子**

### **学会等社会貢献**

- ・日本循環器看護学会監事 H25.4.～
- ・日本循環器看護学会査読員 H25.4.～
- ・日本クリティカルケア看護学会査読員 H25.4.～
- ・神奈川県立保健福祉大学実践教育センター 認定看護師の教育に係わる委員会委員 H25.4.～
- ・神奈川県立保健福祉大学実践教育センター「集中ケア認定看護師概論」非常勤講師 H26.6.13
- ・第 23 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会コメディカルシンポジウム・シンポジスト H26.7.24
- ・鴨川市観光課 棚田の夜祭り実行委員会委員 H25.6.～

## **宮本 眞巳**

### **原著論文**

- ・美濃由紀子、中川佑架、宮本眞巳（2014）：司法精神医療における退院・地域調整に向けた支援 CPA (Care Programme Approach) 会議の再現を通して日本精神科看護学術集会誌、**57(2)**、268-272
- ・宮本眞巳、美濃由紀子、高橋直美、中川佑架、熊地美枝（2015）：職種連携による医療の充実に向けた組織強化とスタッフ教育に関する研究、厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業（精神障害分野）医療観察法の向上と関係機関の連携に関する研究平成 25 年度総括・分担研究報告書、169-207

### **学会等社会貢献**

#### 1 他大学講師

- ・東京医科歯科大学医学部保健衛生学科「地域精神看護学」講師（2 時間）
- ・東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科「精神保健看護学特論」講師（8 時間）、「がん看護学特論」講師（4 時間）、「保健医療情報学」講師（4 時間）

#### 2 講演

- ・「事例検討の方法について」、虎の門病院本院（東京）、H26.5
- ・「事例検討の方法について」、虎の門病院分院（川崎）、H26.5
- ・「本当のやる気を育てる—自己決定の支援に向けて—」、新宿フレンズ患者家族会（新宿）、H26.8
- ・「本当のやる気を育てる—自己決定の支援に向けて—」、患者家族会コスモス会（五井）、H26.8
- ・「事例検討会の組織化を通じた事例の包括的な把握」、日本精神科看護協会、H26.8
- ・「ストレスを吹き飛ばせ！—セルフケアを支援する—」、亀田医療大学市民公開講座、H27.1

#### 3 外部委員

- ・日本精神科看護技術学会、認定看護師認定委員（司法精神看護担当）、H18.4.～
- ・ダルク女性ハウス（薬物依存症者リハビリテーション施設）運営委員、H8.4.～
- ・千葉県立長狭高校学校運営協議会委員、H25.4.～

- ・司法精神医療等人材養成研修企画委員会委員、H22.4～

## **休波 茂子**

### **原著論文**

- ・休波茂子 (2014) : 感染管理認定看護師が認識する感染管理の専門的実践とその影響要因、環境感染誌、**29** (3)、173-182
- ・Miki Yamamoto, Hiroshi Murabayashi, Yukio Omori, Shigeko Yasunami (2014) : Visualization of Oral Bacteria Using a Fluorescent Dye and Its Application for the Assessment of Oral Care, Yearbook on Japan Society of Nursing Research.

### **学会発表等**

- ・臼井綾子、佐久間夕美子、休波茂子 (2014) : 基礎看護技術教育の教科書分析に関する文献検討、第40回日本看護研究学会学術集会、**37** (3)、225 (奈良市)
- ・渡邊八重子、クローズ幸子、休波茂子、手島恵 (2014) : 米国看護大学における質と安全教育改革“QSEN”の取り組み、第34回日本看護科学学会学術集会、**225** (名古屋市)

### **研究助成及び研究活動報告**

- ・平成25年度文部科学省科学研究費助成事業(基盤研究C) 課題番号25463354、看護学生の臨地協働による医療安全教育プログラム開発と評価、渡邊八重子(研究代表者)、手島恵(研究分担者)、クローズ幸子(同)、休波茂子(同)

### **学会等社会貢献**

- ・亀田総合病院新規採用者「看護診断基準」研修講師 H26.5、6
- ・公立昭和病院看護診断事例検討研修会講師 H27.3

## **米林 喜男**

### **学会発表等**

- ・米林喜男 (2014) : 第36回もやいの会特別記念講演(講師 川嶋辰彦先生) 座長
- ・米林喜男 (2014) : 地域自立生活支援のありかた・システムと専門職連携—安心して暮らせるまちづくりへの貢献—鼎談

### **学会等社会貢献**

- ・日本保健医療社会学会国際渉外委員会アドバイザー
- ・白山社会学会副会長
- ・鴨川市健康づくり推進協議会委員(会長) H25.7～
- ・第一生命財団理事 H25.6～
- ・もやいの会運営委員 H2.6～

## **足立 智孝**

### **著書**

- ・足立智孝 (2014) : 看護倫理実践事例46、清水哲郎監修、日総研出版、pp.160-170.
- ・Toshitaka Adachi, (2014), *Bioethics Education in a Global Perspective*, Henk ten Have ed., Springer, pp.74-96.

## 学会発表

- ・Toshitaka Adachi(2014): The Narrative Approach to Ethics Education for Nursing Students:An Example from Japan, International Association for Education in Ethics (Ankara University, Turkey)
- ・千葉恵子、蔵本浩一、吉田真徳、大川薫、足立智孝 (2014) : 医療における意思決定支援を考えるー医療者自身の意思決定のワークショップを通じてー、日本緩和医療学会 (神戸国際展示場)
- ・足立智孝 (2014) : バイオエシックスにおける ACP—AD から ACP へー、日本生命倫理学会 (浜松アクトシティコンgres)

## 研究助成及び研究活動報告

### 1 研究助成

- ・平成 22 年度文部科学省科学研究費補助金 (基盤研究 A) 研究課題番号 22242001、理論的基盤と臨床実践とを統合する新しい医療倫理学の方法論についての研究、宮坂道夫 (研究代表者)、足立智孝 (研究分担者)、栗原隆 (同)、細見博志 (同)、中田光 (同)、田澤立之 (同)、酒井さゆり (同)、後藤清恵 (同)、山内春夫 (同)、甲斐克則 (同)、鳥谷部真一 (同)
- ・平成 24 年度文部科学省科学研究費補助金 (基盤研究 B) 研究課題番号 24390482、看護師に対する倫理サポートのアクションリサーチ、小西恵美子 (研究代表者)、足立智孝 (研究分担者)、八代利香 (同)、山下早苗 (同)、前田樹海 (同)、鈴木真理子 (同)、八尋道子 (同)、持留里奈 (同)
- ・早稲田大学人間総合研究センター・一般研究プロジェクト (平成 25 年度から 27 年度) 研究課題名「高齢者主体の新しいアドバンス・ケア・プランニングの創出」土田友章 (研究代表者)、足立智孝 (研究分担者)、辻内琢也 (同)、扇原淳 (同)、鶴若麻里 (同)、横瀬利枝子 (同)、角田ますみ (同)、大桃美穂 (同)、日野智豪 (同)、仙波由加里 (同)

### 2 研究活動報告

上記に挙げた三つの研究プロジェクトに関わる研究を中心に行っている。具体的なテーマは各プロジェクトに対応し、それぞれ (1) 倫理教育の方法論的研究、(2) 医療専門職および患者・家族への倫理的支援の研究、(3) 終末期における倫理的意志決定の研究、である。

特に現在最も尽力して行っている研究は、上記 3) のプロジェクトに関係するものである。医療者主体で決定されがちな終末期に関する患者本人の意向をどのように慮り、どのように反映することができるのかについて、各国の取り組みを文献レビューし、日本における展開可能性を探っている。2014 年には、この研究成果を日本生命倫理学会第 26 回年次大会で発表し、現在同学会誌に投稿中である。

## 学会等社会貢献

- ・日本生命倫理学会 第 27 回年次大会実行委員 26.11
- ・日本生命倫理学会 常務理事・事務局長・日本生命倫理学会 H23.11~H26.10 H23.11~同評議員
- ・地域システム・倫理学会 評議員 H20.7~
- ・日本医学哲学倫理学会 国際学術交流委員 H24.11~
- ・日本医学哲学倫理学会 国際大会実行委員 (委員長) H24.11~H26.11
- ・日本看護倫理学会 査読委員 H24.4~
- ・日本看護倫理学会 評議員 H27.2~
- ・encyclopedia of Global Bioethics 国際編集委員会委員 H25.12~
- ・東京女子医科大学大学院 非常勤講師「人間学」H22.4~

- ・星薬科大学薬学科 非常勤講師「医療倫理学」 H22.4～
- ・公益財団法人モラロジー研究所道德科学教育センター 客員研究員 H21.12～
- ・千葉大学大学院看護学研究科 非常勤講師「エンドライフケア」 H25.5～
- ・千葉大学普遍教育 非常勤講師「普遍教養教育」 H23.11～
- ・亀田総合病院疼痛緩和ケア科 傾聴ボランティア倫理講義講師
- ・亀田総合病院臨床研究倫理審査委員会委員 H21.3～
- ・亀田総合病院倫理問題検討委員会委員 H21.3～
- ・長野市民病院医療倫理講演会講師「医療現場における倫理を考えるアドバンスケアプランニング」 H27.3
- ・セルバンク KK 特定認定再生医療等委員会副委員長 H24.1～
- ・地球システム・倫理学会 評議員

## 新居 富士美

### 論文等

- ・新居富士美、関永信子（2015）：乳がん患者に関する1983年から2013年までの国内文献の検討 -若年性乳がん患者の看護を中心に-、日本医学看護学教育学会誌、**24**（1）68-77.
- ・大島 操、新居富士美、安部恭子（2015）：診療所における看護師の役割に関する文献的検討、九州看護福祉大学紀要 **15**（1）81-91.
- ・Fujimi Arai, Yoshiko S.Leibowitz(2014),Nurses' Perceptions of Restraint, *Yearbook on Journal of the Japan Society of Nursing Research*.39-46.

### 学会発表

- ・N.Sekinaga, N.Naito, E.Kagawa,T.Yamanaka,Y.Matsumoto,H.Tamura, F.Arai (2014) :International Journal for Human Caring, Vol18(3) p64. 2014. Qualitative research on nursing students' image of home care. 35th International Association for Human Caring Conference. May24-28, 2014, Kyoto International Conference Center (Kyoto, Japan)

### 研究助成及び研究活動報告

- ・研究活動報告  
さまざまな場の看護ならびに地域格差に目を向け、診療所における看護師の役割について文献を検討し課題を抽出した。これをもとに中間施設の役割から終の棲家へと変化、または、医療依存度が高くなりつつある施設における看護・介護の連携とケアの見直しに着手している。

### 学会等社会貢献

- ・亀田総合病院看護部教育委員会委員

## 大石 昌也

### 学会等社会貢献

- ・日本未熟児新生児学会 評議員
- ・Combi（株）育児用品開発援助（抱っこヒモの安全、意見交換会&新生児生体情報計測助言） H26.4～
- ・第1回看護師のためのポケットエコー勉強会開催 H26.7.31

## 平山 香代子

### 著書

- ・正野逸子、本田彰子、炭谷靖子、菊池和子、生野繁子、上野まり、栗本一美、伊澤美智子、赤沼智子、荒木晴美、平山香代子、中山優季、野元由美、王麗華、遠藤貴子、宇野さつき (2015) : 看護実践のための根拠がわかる在宅看護技術 第3版、メヂカルフレンド社、pp.174-182,pp.241-268.
- ・本田彰子、正野逸子、炭谷靖子、菊池和子、土平俊子、平山香代子、荒木晴美、栗本一美、赤沼智子、王麗華、上野まり(2015) : 訪問看護師 OJT ガイドブック 第3版、日本訪問看護財団、pp.3-62.

### 学会発表

- ・王麗華、平山香代子、太田浩子、木内妙子 (2014) : 療養者・家族の力を活かす医療処置の習得への支援、日本看護研究学会第40回学術集会(第37巻3号)、日本看護研究学会雑誌、**37** (3)、316.
- ・平山香代子、本田彰子、王麗華 (2014) : 在宅移行期の訪問看護師による療養指導の実際、日本看護研究学会第40回学術集会(第37巻3号)、日本看護研究学会雑誌、**37** (3)、160.

## 眞野 響子

### 著書等

- ・有家香、貝瀬友子、藏谷範子、佐藤真由美、末永弥生、高野海哉、高橋明美、高橋道明、富沢栄子、博多祐子、星名美幸、眞野響子、三輪のり子、森本悦子、山崎由美子、山下留理子 (2014) : 2015年版 看護師国家試験問題 解答・解説 別冊第103回看護師国家試験問題 解答・解説、メヂカルフレンド社、pp.95-96、p101、pp.117-119、pp.122-124、pp.132-133 (午前2、3、4、8、35午後6、7、15、36、38、46、94、95、96)
- ・田中孝美、山田知子、石井真、貝瀬友子、鈴木敦子、吉田俊子、眞野響子、木下里美、安藤里恵、原田通予 (2014) : クリニカルスタディ 第35巻 第9号ふろく 看護がみえる疾患ファイル Vol.1、メヂカルフレンド社、pp.10-11(虚血性心疾患)、pp.16-17(慢性腎臓病)
- ・眞野響子ほか53名監修(2015) : 看護師・看護学生ためのレビューブック2016 第17版、メディックメディア、pp.G1-G48
- ・赤塚宣治、池亀俊美、犬尾千聡、加藤貴康、北濱真理子、松田真紀子、眞野響子、森下幸治、渡邊哲監修(2015) : 看護師・看護学生のための なぜ? どうして? 2 成人看護 循環器・血液・免疫 第6版、メディックメディア、pp.280-397 (血液凝固・抗血栓薬、輸血、血液疾患・骨髄移植)

### 学会等社会貢献

- ・鴨川地域医療連携会議委員 H25～
- ・東京医療保健大学「疾患別看護用語セット開発委員会委員」 H26.2.1～H27.3.31
- ・亀田総合病院(安房地域難病相談・支援センター)「第5回研修 介護職員等の喀痰吸引等研修(特定の者対象)」吸引技術演習講師(亀田医療大学) H26.7.12
- ・亀田医療大学 実習指導者研修会 講師「実習指導方法」(亀田医療大学) H26.8.23
- ・品川シルバー大学いきいきコース講師「シニア世代の医療と福祉 ～つながる・支え合う～ 上手な病院のかかりかた、胃瘻について」(品川区中小企業センター) H26.10.14
- ・平成26年度在宅医療・介護連携推進研修会ファシリテーター「地域における薬剤師との役割と

## 工藤 由美

### 著書

- ・工藤由美 (2014) : 『世界地名大事典 9 : 中南アメリカ』、山田睦夫・中川文雄・松本栄次編、朝倉書店、49/1396 頁 (担当総頁数)。執筆項目はチリ共和国の南部を中心とした以下 44 項目である。アラウカニア州 (pp.54-55)、アラウコ (p.55)、アンクッド (pp.89-90)、アンゴル (p.91)、エルテニエンテ (p.203)、オソルノ (p.222)、カウティン (p.246)、カストロ (p.257)、カルブコ (p.298)、クラカウティン (p.372)、コラル (p.430)、コロネル (p.444)、ジャンキウエ (p.625)、タルカワノ (p.709)、チグアジャンテ (p.718)、チジャン (p.720)、チャイテン (p.725)、チロエ (p.750)、チロエ島 (p.750)、テムコ (pp.782-783)、トメ (p.813)、トライゲン (p.814)、ヌエバインペリアル (p.857)、バニョスデチウイオ (p.905)、バルディビア (p.951)、ビクトリア (pp.977-978)、ビジャリカ (p.987)、ピトルフケン (p.991)、プエルトオクタイ (p.1016)、プエルトバラス (p.1020)、プエルトモント (p.1022-1023)、プコン (p.1033)、フルティジャル (p.1059)、ペトロウエ (p.1079)、ペムコ (p.1092)、マジエコ (p.1160)、ユンガイ (p.1258)、ラウタロ (p.1264)、ラウニオン (p.1264)、ロスアンヘレス (p.1346)、ロスラゴス州 (p.1350)、ロスリオス州 (p.1350)、ロタ (pp.1351-1352)、ロンコチェ (p.1360)。

### 研究助成及び研究活動報告

- ・平成 26 年度文部科学省科学研究費補助金 (新学術領域研究) 研究課題番号 26101005、古代アメリカの比較文明論 研究項目 A04 : 植民地時代から現代の中南米の先住民文化、鈴木紀 (研究代表者)、井上幸孝 (研究分担者)、工藤由美 (同)、小林貴徳 (同)、杓谷茂樹 (同)、禪野美帆 (同)、藤掛洋子 (同)、本谷裕子 (同)、(2014 年 7 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日まで)

### 学会等社会貢献

- ・東邦大学看護学部 非常勤講師「文化人類学」
- ・国立民族学博物館共同研究員、研究課題「家族と社会の境界面の編成に関する人類学的研究—保育と介護の制度化／脱制度化を中心に」 H26.10.1～H30.3.31
- ・日本文化人類学会課題研究懇談会「医療人類学教育の検討」、会員 H26.4.1～H30.3.31

## 久保 幸代

### 原著論文等

- ・前田広美、久保幸代、巖千晶、安田友恵、丸山祝子、鈴木享子 (2015) : NICU に配属となった新卒助産師の職場適応、第 45 回日本看護学会論文集急性期看護、298-301

### 学会発表

- ・前田広美、久保幸代、巖千晶他 (2014) : NICU に配属になった新卒助産師の困難、第 45 回日本看護学会 (パシフィコ横浜)

### 研究助成及び研究活動報告

- ・平成 25 年度文部科学省科学研究費助成事業 (基盤研究 C) 課題番号 25463353、看護大学と臨床における労働時間の「等価交換」による連携・協働システムの構築、久保幸代 (研究代表者)、恵美須文枝 (研究協力者)、金澤貴子他 (同)

## 学会等社会貢献

- ・日本助産学会学会誌編集委員会委員 H26.4～
- ・日本助産師会組織強化委員会委員 H26.4～
- ・千葉県看護協会助産師職能委員会委員 H26.4～
- ・第45回日本看護協会—在宅看護—ポスター発表ファシリテーター（山形） H26.10
- ・亀田総合病院 産後ケア（家庭訪問）実施検討会 H26.7
- ・亀田ファミリークリニック館山 家庭訪問事業実施 H26.8～

## 栗栖 千幸

### 学会発表

- ・飯野理恵、宮崎美砂子、石丸美奈、時田礼子、岩瀬靖子、上田修代、杉田由加里、栗栖千幸、佐藤紀子（2014）「予防活動の持続・発展に有用な地域看護技術項目の検討～新任期保健師への意見調査～」第17回日本地域看護学会学術集会（岡山）
- ・島吉伸、栗栖千幸、真田正博（2014）「医療の業務効率化を支援するマネジメント・コントロール・システム」日本管理会計学会2014年度全国大会(青山学院大学)

## 研究助成及び研究活動報告

### 1 研究助成

- ・公益財団法人メルコ学術振興財団 研究助成 助成金交付番号研究2012004号、看護サービスのマネジメントが病院の業績に及ぼす影響、栗栖千幸（研究代表者）
- ・平成25年度科学研究費助成事業（基盤研究C）課題番号25463352、看護サービスの品質マネジメントモデルの構築に関する研究、栗栖千幸（研究代表者）、安酸建二（研究分担者）、島吉伸（同）
- ・平成25年度科学研究費助成事業（基盤研究B）課題番号25293470、予防活動の持続・発展のための地域看護実践ガイドの作成と普及に関する研究、宮崎美砂子（研究代表者）、石丸美奈（研究分担者）、杉田由加里（同）、飯野理恵（同）、時田礼子（同）、佐藤紀子（連携研究者）、栗栖千幸（同）、上田修代（同）、岩瀬靖子（研究協力者）、土屋裕子 岩瀬靖子（同）
- ・平成25年度科学研究費助成事業（基盤研究C）課題番号25463353号、看護大学と臨床における労働時間の「等価交換」による連動・協働システムの構築、久保幸代（研究代表者）、栗栖千幸（連携研究者）、恵美須文枝他7名（研究協力者）

### 2 研究活動報告書

- ・公益財団法人メルコ学術振興財団 研究助成 助成金交付番号研究2012004号、平成24年6月18日交付、研究期間：2年間、最終報告書2014年10月8日提出、研究課題名：看護サービスのマネジメントが病院の業績に及ぼす影響、栗栖千幸（研究代表者）

## 学会等社会貢献

- ・鴨川地域医療連携会議委員 H24.12～
- ・亀田総合病院地域連携室会議委員 H23.5～
- ・「介護職員等の喀痰吸引等研修(特定の者対象)」における吸引研修講師 H26.4～7
- ・平成26年度 在宅医療・介護連携推進研究会（鴨川市） H26.10
- ・「逸品」ものづくり経営塾 第7期全体会議（同志社大学） H27.3.京都

## **小林 美奈子**

### **著書**

- ・小林美奈子 (2014) : 実証された笑うものには福が来る、ラフターヨガ・笑いヨガガイドブック、(有) プランニング・オフィス社、pp.13-14

### **学会発表**

- ・小林美奈子、大東俊一、一般日本人におけるスピリチュアリティ尺度の文献検討 (2014) : 第 19 回日本心身健康科学学会学術集会 (東京)
- ・森田久美子、青木利江子、山本晴美、小林美奈子、呂曉衛、永嶺仁美、佐々木明子 (2014) : 放課後児童クラブ・地域子ども教室における世代間交流の課題、日本世代間交流学会第 5 回全国大会抄録集 (兵庫)
- ・小林美奈子、被災地のデイサービス利用者へ「笑い」を用いたうつ予防プログラムの実践評価 (2014) : 第 24 回日本健康医学会総会 (東京)
- ・小林美奈子、大東俊一、東日本大震災を経験した SOC の高い高齢者の心の拠り所 (2015) : 第 20 回日本心身健康科学学会学術集会 (東京)
- ・Minako Kobayashi, Fujimi Arai, Kiyoko Futaesaku, Shunichi Daito, Kaoru Kumasaka(2015) ; Sense of coherence and inner sense of value among elders who experienced the great east Japan earthquake、18th East Asian Forum of Nursing Scholars (Taiwan)
- ・Xiaowei Lu, Harumi Yamamoto, Rieko Aoki1, Hitomi Nagamine, Minako Kobayashi, Kumiko Morita(2015) ; Futer Prospects of Intergenerational Interaction in China Based on Japan's Experience、18th East Asian Forum of Nursing Scholars (Taiwan)

### **研究助成及び研究活動報告**

- ・平成 26 年度文部科学省科学研究費助成事業 (基盤研究 C) 研究課題番号 : 25463617、地域の実情に合わせた世代間交流プログラムの開発と有効性の検証、森田久美子 (研究代表者)、小林美奈子 (研究分担者)、佐々木明子 (同)

### **学会等社会貢献**

- ・鴨川市立太海小学校「総合学習における職業訓練」講師 H26.12
- ・茨城県稲敷郡阿見町社会福祉協議会 自殺予防対策事業「高齢者のうつ予防」講演 H27.2
- ・日本産業カウンセラー協会東京支部「タッピングタッチ基礎講座」実技指導 H27.3
- ・東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科非常勤講師「地域健康増進看護学」 H26.12

## **佐久間 夕美子**

### **原著論文等**

- ・佐々木晶世、佐久間夕美子、大竹まり子、叶谷由佳、佐藤千史 (2014) : 28 日間のガム咀嚼が小学生のストレスに与える影響、日本健康医学会雑誌、**23** (1)、10-17
- ・齋藤彩子、木村加奈子、佐久間夕美子、小宮亜弓、佐藤美紗子、小林由季、佐藤千史 (2014) : 企業における動脈硬化対策の実態調査、社会保険旬報、No.2572、38-43
- ・佐久間夕美子、宮内清子、佐々木晶世、臼井綾子、佐藤千史 (2014) : 女性労働者における簡易なヨーガ・プログラムの効果、日本健康医学会雑誌、**23** (2)、69-79
- ・原田彩奈、森山明美、佐久間夕美子、望月美由紀、佐藤千史 (2015) : 看護職志望動機に関する文献検討 40 年間の時代の変化を踏まえて、看護展望、**40** (1)、79-85

## 学会発表

- ・白井綾子、佐久間夕美子、休波茂子（2014）：基礎看護学技術教育の教科書分析に関する文献検討、日本看護研究学会第40回学術集会（奈良）
- ・佐々木晶世、佐々木美幸、長尾綾子、服部紀子、青木律子、菅野真奈、佐久間夕美子、叶谷由佳（2014）：高齢者向けチェアヨーガが在宅高齢者の心身の健康に与える影響、第24回日本健康医学学会総会（東京）
- ・Yumiko Sakuma, Sadayo Ishida, Akiyo Sasaki-Otomaru, Yoshiko Mochizuki, Ayako Usui, Chifumi Sato(2015): The effect of a self-monitoring network using PHS among Japanese women during pregnancy, 18<sup>th</sup> East Asian Forum Scholars (Taiwan)

## 研究助成及び研究活動報告

### 1 研究助成

- ・第45回（平成26年度）三菱財団社会福祉事業研究助成、認知症グループホームにおける基礎看護技術の応用と看護・介護の協働支援に関する研究、佐久間夕美子（研究代表者）、鶴沢淳子（協同研究者）

### 2 研究活動報告

上記の研究については、平成27年度内に全国調査および施設調査を実施し、協働支援に関する基礎データを収集し、その成果を学会等で発表予定である。それに加え、妊産婦支援をはじめ健康教育に関する研究を継続的に行っている。妊産婦支援に関する研究では、PHSを活用した妊産婦のセルフモニタリングネットワークを構築・運用し、その研究成果について一部を2015年2月に開催された18<sup>th</sup> EAFONSで発表した。

## 学会等社会貢献

- ・日本健康医学会 評議員 H26.4～

## 佐藤 真由美

### 著書

- ・佐藤真由美、真野響子、高橋道明ら(2014)：メジカルフレンド社編集、第103回 看護師国家試験問題 解答・解説, p99,103,104,122,123,125,130,131 メジカルフレンド社

### 原著論文

- ・佐藤真由美、佐藤禮子：婦人科系がん術後患者の続発性(二次性)リンパ浮腫予防のためのセルフ・マネジメントを促す介入プログラム開発、平成26年度 国際医療福祉大学大学院博士論文

### 学会発表

- ・佐藤真由美（2015）：婦人科がん患者のリンパ節郭清療法に伴う CDSMP の変化、第38回日本リンパ学会総会、ソラシティー(東京)

## 渡辺 八重子

### 原著論文

- ・渡辺八重子、クローズ幸子（2015）：米国看護大学における質と安全教育の改革“QSEN”の取り組み：看護教育、56（1）、56-63

## 学会発表

- ・渡辺八重子、青木和夫（2014）：看護業務の勤務帯別労働負担と疲労に関する研究、ストレス学会（東京）
- ・渡辺八重子、クローズ幸子、休波茂子、手島恵：米国看護大学における質と安全教育の改革“QSEN”の取り組み、日本看護科学学会（愛知）
- ・渡辺八重子、青木和夫（2014）：看護業務の勤務帯別労働負担と疲労に関する研究、第 58 回日本大学理工学部学術講演会（東京）

## 研究助成及び研究活動報告

- ・平成 25 年度文部科学省科学研究費助成事業（基盤研究 C）課題番号 25463354、看護学生の臨地協働による医療安全教育プログラム開発と評価、渡辺八重子（研究代表者）、休波茂子（研究分担者）、クローズ幸子（同）、手島恵（同）

## 学会等社会貢献

- ・亀田総合病院チームステップス推進委員会
- ・FD・SD・ユニフィケーション委員会 平成 26 年度 実習指導者研修会担当
- ・福島県看護協会ファーストレベル研修チーム医療
- ・日本看護教育学会研修会 医療安全研修会講師「医療安全への取り組みー新たな看護基礎教育の流れー」（福岡）

## 有家 香

### 著書

- ・有家香、真野響子、高橋道明ら（2014）：2015 年版 看護師国家試験問題 解答・解説 別冊第 103 回看護師国家試験問題 解答・解説、p.136(午前 1,84,85 午後 1,2,20,45) メヂカルフレンド社編集部

### 原著論文等

- ・有家香（2015）：新人看護師の看護技術実施に伴う体験の捉え方、日本赤十字看護学会誌、15(1)、47-54

## 研究助成及び研究活動報告

- ・鶴沢淳子（研究代表者）、有家香（研究分担者）、休波茂子（同）、臼井綾子（同）、佐久間夕美子（同）、渡邊八重子（同）「基礎看護学教育に TBL を用いた教育方法の検討」ー基礎看護学教育プログラムの作成を導き出すー(H26.4～)

## 鶴沢 淳子

### 学会発表

- ・鶴沢淳子、久住武、小岩信義(2014)：大学生の特性的自己効力感とストレスとの関連、第 19 回日本心身健康科学学会 学術集会
- ・鶴沢淳子、久住武、小岩信義：主要 5 因子の性格特性と特性的自己効力感との関連 第 20 回日本心身健康科学学会 学術集会

## 研究助成及び研究活動報告

- ・平成 26 年 4 月より基礎看護学の治療援助論の授業において学生に質問調査紙を用いて以下の内容で研究。  
テーマ「基礎看護技術の修得に共通の一事例を用いた教育方法の学修効果」  
鶴沢淳子（研究代表者）、有家香（研究分担者）、休波茂子（同）、臼井綾子（同）、佐久間夕美子（同）、渡邊八重子（同）

## 学会等社会貢献

- ・株式会社 トータルケアコミュニケーション 非常勤講師
- ・日本アンガーマネジメント協会 ファシリテータ

## 遠藤 寛子

### 著書等

- ・佐々木明子、照沼正子、森田久美子. 監修協力：山口忍、小野ミツ、遠藤寛子、他（2014）：  
DVD 続・地域看護活動とヘルスプロモーション第 2 巻『公衆衛生看護活動における健康相談』、丸善出版株式会社
- ・佐々木明子、照沼正子、森田久美子. 監修協力：山口忍、小野ミツ、遠藤寛子、他（2014）：  
DVD 続・地域看護活動とヘルスプロモーション第 3 巻『公衆衛生看護活動における地区組織活動、自主グループ』、丸善出版株式会社
- ・佐々木明子、照沼正子、森田久美子. 監修協力：山口忍、小野ミツ、遠藤寛子、他（2014）：  
DVD 続・地域看護活動とヘルスプロモーション第 4 巻『公衆衛生看護活動における地域診断』、丸善出版株式会社

### 原著論文等

- ・遠藤寛子（2014）：成人女性における尿失禁予防・改善行動の関連要因—高齢期に向けた介護予防の視点から—、御茶の水看護学雑誌 18（2）、35-48

## 研究助成及び研究活動報告

- ・平成 26 年度文部科学省科学研究費助成事業（基盤研究 B）研究課題番号 23390515、地域看護職者による高齢者全数の予防訪問の実施方法と効果、佐々木明子（研究代表者）、小野ミツ（研究分担者）、森田久美子（同）、田沼寮子（同）、山崎恭子（同）、川原玲子（同）、遠藤寛子（同）
- ・平成 26 年度亀田医療大学学長裁量特別研究費、団塊世代高齢者における健康に関する態度、遠藤寛子

## 金澤 貴子

### 学会発表

- ・金澤貴子、潮田千寿子、安達久美子、竹内道子、田幡純子、内田朋子、鈴木小弥香、小川久貴子（2015）：助産師・ソーシャルワーカーからみた 10 代母の特徴、第 29 回日本助産学会学術集会（品川区立総合区民会館きゅりあん）

## 研究助成及び研究活動報告

- ・平成 25 年度文部科学省科学研究費助成事業（基盤研究 C）課題番号 25463527、10 代女性の周産期を中心とした育児支援システムの構築、小川久貴子（研究代表者）、安達久美子（研究分担

- 者)、白井千晶(同)、竹内道子(研究協力者)、田幡純子(同)、潮田千寿子(同)、鈴木小弥香(同)、金澤貴子(同)、内田朋子(同)
- ・平成25年度文部科学省科学研究費助成事業(基盤研究C)課題番号25463353、看護大学と臨床における労働時間の「等価交換」による連携・協同システムの構築、久保幸代(研究代表者)、恵美須文枝(研究協力者)、金澤貴子他(同)
  - ・亀田医療大学学長裁量経費特別研究費(平成25年度より延長)、ALSOコースの開催にむけての調査研究、金澤貴子(研究責任者)、恵美須文枝(共同研究者)、久保幸代(同)、鈴木真(同)

#### 学会等社会貢献

- ・BLSO コースアシスタント H26.5(沖縄)、H27.3(千葉)
- ・ALSO コースアシスタント H26.5, 8、H27.1(千葉)、H26.11(東京)

### 高橋 道明

#### 研究助成及び研究活動報告

- ・平成26年度文部科学省科学研究費助成事業(基盤研究C)研究課題番号26463261、多様な背景をもつ看護職員に対する教育支援体制構築のためのモデル作成、佐々木幾美(研究代表者)、西田朋子(研究分担者)、藤尾麻衣子(同)、高橋道明(同)

### 中島 洋一

#### 原著論文

- ・中島洋一(2014): The present conditions of the Palliative care and influence on QOL of the nurse インターナショナルNursing Care Research、**13**(3)、19-28
- ・中島洋一(2014): 精神科病棟の現状と看護師の QOL への影響 インターナショナル Nursing Care Research、**13**(4)、143-149

#### 学会等社会貢献

- ・有限会社 松本興業 健康増進事業 熱中症予防と対策講演・演習 H26.7
- ・亀田総合病院 安房地域難病相談・支援センター「介護職員等の喀痰吸引等研修(特定の者対象)」厚生労働省令126号 H26.7
- ・NPO 法人 日本メディックスサポート 中国人看護師留学生の日本看護師国家試験対策 精神看護学講座講師 H26.8
- ・千葉県接骨師会房総支部副支部長、相川道場にて青少年柔道の技術指導及び安全・健康管理教育、地区大会運営 通年

### 松丸 直美

#### 学会等社会貢献

- ・安房地域精神障害者地域移行支援事業協議会 構成員 H25.11～
- ・鴨川地域医療連携会議委員 H25.6～
- ・精神デイケア(安房保健所主催) 参加 H25.2～
- ・鴨川市文化施設ボランティア・生涯学習人材バンク・ボランティア 参加 H25.2～
- ・安房医療ねっと 参加
- ・鴨川市精神障害者家族会 参加(月1回開催) H26.2～
- ・がん患者の生殖保存における心理支援の心理教育プログラム 心理士研修会 ロールプレイの患

者役 H27.1

## **宮城 孝満**

### **学会等社会貢献**

- ・ 亀田総合病院 法人内 ICT 改革及び、磁気電子カルテ Aolani 開発会議委員 H26.4
- ・ 東京女子医科大学 科研 H26.4～

## **柚山 香世子**

### **研究助成**

- ・ 亀田医療大学学長裁量経費特別研究費（平成 26 年度）、看護補助業務アルバイトに対する看護学生の体験、柚山香世子（研究代表者）、恵美須文枝（研究分担者）、久保幸代（同）、高橋道明（同）

### **学会等社会貢献**

- ・ 安房地域精神障害者地域移行支援事業協議会 構成員 H25.11～
- ・ がん患者の生殖保存における心理支援の心理教育プログラム 心理士研修会 ロールプレイの患者役 H27.1
- ・ 児童養護施設における性教育 講師 H22.7～
- ・ 日本精神科看護協会研修会「精神科認定看護師志願者対象 実践事例検討会」ファシリテーター H26.8
- ・ 日本精神科看護協会研修会「実習指導者 実践事例検討会」ファシリテーター H26.11

## **小坂 玲音**

### **学会等社会貢献**

- ・ 亀田総合病院安房地域難病相談・支援センター 介護職員等による喀痰吸引等研修における経管栄養の研修内での実技指導 H26.4～7

## **鈴木 玲子**

### **学会等社会貢献**

- ・ 亀田総合病院安房地域難病相談・支援センター 介護職員等による喀痰吸引等研修における研修内での実技指導 H26.4

## **中川 泰弥**

### **学会等社会貢献**

- ・ 亀田総合病院「看護診断基礎研修」ファシリテーター H26.5～6

## **宮崎 俊一郎**

### **学会等社会貢献**

- ・ 第 45 回日本看護学会－在宅看護－学会ファシリテーター（ポスター発表） H26.10
- ・ 第 11 回日本循環器看護学会学術集会 ランチョンセミナー6 循環器領域におけるせん妄の予防

～原因と対策～ 演者助手 H26.10

- ・第 42 回日本集中治療医学会 学会ファシリテーター、看護部門ポスターNP4-3 人工呼吸敗血症患者の筋量変化の現状調査 ～超音波断層法、生体インピーダンスによる大腿筋評価～研究発表

## VI. 平成 27 年度入学生の選抜状況

### 1 入学生の男女別

| 試験区分     | 募集<br>人員 | 志願者数 |     |     | 受験者数 |     |     | 合格者数 |    |     | 入学者数 |    |           |    |
|----------|----------|------|-----|-----|------|-----|-----|------|----|-----|------|----|-----------|----|
|          |          | 男    | 女   | 計   | 男    | 女   | 計   | 男    | 女  | 計   | 男    | 女  | 計         |    |
| 推薦(指定校含) | 40       | 9    | 49  | 58  | 9    | 49  | 58  | 7    | 44 | 51  | 7    | 44 | 51        |    |
| 一般       | I 期      | 25   | 25  | 100 | 125  | 19  | 84  | 103  | 10 | 37  | 47   | 7  | 20        | 27 |
|          | II 期     | 5    | 2   | 16  | 18   | 2   | 14  | 16   | 1  | 5   | 6    | 1  | 4         | 5  |
| センター利用   | 10       | 8    | 14  | 22  | 4    | 9   | 13  | 4    | 6  | 10  | 2    | 2  | 4         |    |
| 合計       | 80       | 44   | 179 | 223 | 34   | 156 | 190 | 22   | 92 | 114 | 17   | 70 | <b>87</b> |    |

### 2 入学生の現浪別

| 試験区分     | 募集<br>人員 | 志願者数 |     |     | 受験者数 |    |     | 合格者数 |    |     | 入学者数 |    |           |    |
|----------|----------|------|-----|-----|------|----|-----|------|----|-----|------|----|-----------|----|
|          |          | 現    | 浪   | 計   | 現    | 浪  | 計   | 現    | 浪  | 計   | 現    | 浪  | 計         |    |
| 推薦(指定校含) | 40       | 58   | 0   | 58  | 58   | 0  | 58  | 51   | 0  | 51  | 51   | 0  | 51        |    |
| 一般       | I 期      | 25   | 105 | 20  | 125  | 89 | 14  | 103  | 44 | 3   | 47   | 25 | 2         | 27 |
|          | II 期     | 5    | 15  | 3   | 18   | 13 | 3   | 16   | 4  | 2   | 6    | 4  | 1         | 5  |
| センター利用   | 10       | 21   | 1   | 22  | 12   | 1  | 13  | 10   | 0  | 10  | 4    | 0  | 4         |    |
| 合計       | 80       | 199  | 24  | 223 | 172  | 18 | 190 | 109  | 5  | 114 | 84   | 3  | <b>87</b> |    |

### 3 出願者等の出身高校都道府県別

|     | 北海道 | 青森 | 岩手 | 宮城 | 秋田 | 山形 | 福島 | 茨城 | 栃木 | 群馬 | 埼玉 | 千葉  |
|-----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 出願者 | 4   | 3  | 1  | 3  | 1  | 3  | 1  | 15 | 1  | 1  | 6  | 144 |
| 受験者 | 4   | 3  | 0  | 2  | 1  | 2  | 1  | 12 | 1  | 1  | 3  | 130 |
| 合格者 | 3   | 1  | 0  | 2  | 1  | 1  | 1  | 5  | 1  | 1  | 2  | 79  |
| 入学者 | 3   | 1  | 0  | 2  | 0  | 1  | 1  | 3  | 1  | 1  | 1  | 64  |

|     | 東京 | 神奈川 | 新潟 | 山梨 | 長野 | 静岡 | 京都 | 他(高認) | 合計        |
|-----|----|-----|----|----|----|----|----|-------|-----------|
| 出願者 | 24 | 3   | 5  | 2  | 2  | 2  | 1  | 1     | 223       |
| 受験者 | 18 | 3   | 5  | 0  | 1  | 2  | 1  | 0     | 190       |
| 合格者 | 11 | 1   | 3  | 0  | 1  | 1  | 0  | 0     | 114       |
| 入学者 | 5  | 1   | 2  | 0  | 0  | 1  | 0  | 0     | <b>87</b> |

## Ⅶ. 図書館

### 1 概要

|    |            |                                 |        |
|----|------------|---------------------------------|--------|
| 設備 | 総面積        | 748.7㎡(開架書庫:568.25㎡、閉架書庫:58.2㎡) |        |
|    | 開架書庫収蔵能力   | 約22,000冊                        |        |
|    | 閲覧スペース     | 70席                             |        |
|    | グループワーク室   | 3室(各12席)                        |        |
|    | 情報検索コーナー   | 10席(PC10台)                      |        |
|    | AVコーナー     | 6席(DVD/VHSプレーヤー6台)              |        |
|    | ブラウジングコーナー | 7席                              |        |
|    | その他        | 書架ベンチ長椅子4台、書架椅子6席、和スペース7畳       |        |
| 運用 | 開館時間       | 平日                              | 9時～20時 |
|    |            | 土・短縮開館                          | 9時～17時 |
|    | 館長         | 米林喜男(看護学部基礎:教授)                 |        |
|    | スタッフ       | 専任1名: 立野幸子(学務:図書館司書)            |        |
|    |            | 兼任1名: 稲葉京子(亀田医療技術専門学校:図書室長)     |        |
|    |            | 事務補佐員3名: 吉野千春、日方美幸、渡邊博子         |        |

### 2 沿革

|       |     |  |
|-------|-----|--|
| 2012年 | 4月  | 図書館開館 初代館長 米林喜男                        |
|       | 6月  | 日本看護図書館協会 入会                           |
|       | 8月  | 私立大学図書館協会 加盟                           |
|       | 8月  | NACSIS-CAT 参加                          |
|       | 10月 | NACSIS-ILL 参加                          |
|       | 10月 | 学外者暫定運用開始(亀田医療技術専門学校、亀田メディカルセンター所属者対象) |
| 2014年 | 1月  | 大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE) 参加             |
|       | 4月  | 学外者利用開始(一般開放:平日9:00-17:00)             |

### 3 利用者サービス

#### 1) 学修・研究支援

| 名称・授業名                           | 開催日                        | 対象          | 人数          | 内容   | 場所           | 時間   |
|----------------------------------|----------------------------|-------------|-------------|--|--------------|------|
| 新入生オリエンテーション                     | 4/4(金)                     | 1年生         | 約80名        | 利用案内、館内ツアー<br>担当:立野<br>見学対応:小原・平川                                  | 第3講義室        | 30分  |
| 在学生ガイダンス                         | 4/4(金)                     | 2・3年生       | 約80名<br>×2回 | サービス変更点<br>マナー喚起・督促連絡<br>担当:立野                                     | 第1・第4講義室     | 10分  |
| 教職員オリエンテーション                     | 4/7(月)                     | 新任教員        | 約10名        | 利用案内、購入申請<br>著作権、蔵書点検<br>担当:立野                                     | 第1会議室        | 30分  |
| 「英語論文の書き方<br>(原著論文購読)」<br>(足立智孝) | 4/14(月)4限                  | 授業<br>選択者   | 23名         | 国外データベース<br>(CINAHL・PubMed)講習会<br>講師:EBSCO 竹内美苗氏<br>担当:立野          | 情報処理室        | 90分  |
| 国外データベース<br>(CINAHL・PubMed)講習会   | 4/14(月)5限                  | 新任教員<br>希望者 | 4名          | 国外データベース<br>(CINAHL・PubMed)講習会<br>講師:EBSCO 竹内美苗氏<br>担当:立野          | 情報処理室        | 90分  |
| 図書館ナビ                            | 4/21(月)4・5限<br>4/24(木)3・4限 | 1年生         | 約20名<br>×4回 | 資料活用方法・著作権<br>OPAC検索の基本・演習<br>担当:立野                                | 情報処理室<br>図書館 | 90分  |
| 「看護研究」<br>(宮本眞巳・栗栖千幸)            | 5/22(木)1限<br>5/29(木)1限     | 3年生         | 各約80名       | 文献検索と入手方法、キーワード演習、<br>文献情報の記載と文献管理<br>担当:栗栖・立野                     | 情報処理室        | 180分 |
| 「情報科学」<br>(宮城孝満)                 | 6/7日(火)3・4限                | 1年生         | 約40名<br>×2回 | 雑誌論文の探し方(国内 入門編)<br>文献検索の基本——「医中誌」の演習<br>講師:紀伊国屋書店 進藤 英至氏<br>担当:立野 | 情報処理室        | 90分  |

#### 2) 展示 (場所: 情報検索コーナー)

| 名称                        | 開催日                     | 内容  |
|---------------------------|-------------------------|---|
| 5月12日看護の日<br>——ナイチンゲール生誕日 | 2014年<br>5/8(木)-31(土)   | ナイチンゲール関係資料と<br>「フローレンス・ナイチンゲール・テディベア」の展示                   |
| 夏読フェア                     | 7/22(火)-8/29(金)         | 夏期長期貸出に向けた教養本の展示  |
| しおかぜ祭講演会企画展示              | 11/1(土)-11/28(金)        | 大学祭に図書館を一般開放し、教員による講演会の関連資料(若者・遺<br>伝子検査・病気のこども・ナイチンゲール)を展示 |
| 知りたい! シンガポール!             | 2015年<br>2/4(水)-3/24(火) | 3年生のシンガポール研修に伴い、シンガポールガイド、英会話、国際看<br>護、アジアの医療、異文化など関連本を展示   |

#### 4 図書館職員の活動

| 名称                               | 場所・開催日                    | 参加者         | 内容   |
|----------------------------------|---------------------------|-------------|--|
| 私立大学図書館協会<br>総会・研究大会             | 岡理大<br>8/28(木)-29(金)      | 立野          | 「大学図書館と電子資料」   |
| 安房医療福祉専門学校<br>図書室見学              | 安医専<br>9/5(金)             | 図書館<br>職員4名 | 亀田グループの看護専門学校の図書室見学、意見交換会                            |
| 国立情報学研究所<br>目録システム講習会(雑誌)        | 国情研(竹橋)<br>10/16(木)-17(金) | 立野          | NACSIS-CATへの雑誌データ目録情報入力業務の習得                         |
| 日本看護図書館協会<br>第8回新人研修会            | 甲看専<br>10/18(土)           | 立野          | 「看護学概論」、「図書館司書の役割」、「蔵書構築」、<br>「レファレンス」、「ILL」、「利用者教育」 |
| 国立情報学研究所<br>学術情報ウェブサービス<br>担当者研修 | 国情研(竹橋)<br>12/10(水)-12(金) | 立野          | ウェブ技術を活用した学術情報の提供・発信サービス<br>グループ討議と発表                |
| LLC(ライフサイエンス・ライブラ<br>リアン・千葉)研修会  | ちば市民活力創造プラザ<br>12/13(土)   | 立野          | 韓国図書館見学報告<br>済生会病院の歩みと図書室の活動                         |

#### 5 統計

##### 1) 利用統計

| 2014 | 開館<br>日数 | 入館者数   |    |        | 貸出冊数  |       |    | ILL(相互利用) |     | レファ<br>レンス | 複写  |       |        |
|------|----------|--------|----|--------|-------|-------|----|-----------|-----|------------|-----|-------|--------|
|      |          | 学内     | 学外 |        | 学生    | 教職員   | 学外 |           | 依頼  |            | 受付  | カラー   | 白黒     |
|      | 256      | 29,604 | 61 | 29,665 | 3,103 | 1,046 | 43 | 4,192     | 109 | 11         | 561 | 4,903 | 19,400 |
| 2013 | 251      | 16,872 | 14 | 16,886 | 1,334 | 877   | 8  | 2,219     | 247 | 0          | 270 | 1,961 | 12,759 |
| 2012 | 261      | 11,022 | 12 | 11,034 | 667   | 210   | 10 | 887       | 106 | 0          | 74  | 1,060 | 2,996  |

※入館者数の学内には見学者も含む。

※学外利用…2014年4月より一般開放開始(平日9:00-17:00)

##### 2) 資料統計

| 2014 | 受入数 | 図書     |       |        | 雑誌タイトル |     |     | 電子ジャーナル |     | デー<br>タ<br>ベース | 視聴<br>覚 | 新聞 |
|------|-----|--------|-------|--------|--------|-----|-----|---------|-----|----------------|---------|----|
|      |     | 和書     | 洋書    |        | 和雑誌    | 洋雑誌 |     | 国内      | 国外  |                |         |    |
|      | 購入  | 781    | 1     | 782    | 90     | 8   | 98  | 1,661   | 782 | 4              | 43      | 6  |
|      | 寄贈  | 811    | 200   | 1,011  | 24     | 0   | 24  | -       | -   | -              | 6       | 1  |
|      | 合計  | 1,592  | 201   | 1,793  | 114    | 8   | 122 | 1,661   | 782 | 4              | 49      | 7  |
| 2013 |     | 2,202  | 14    | 2,216  | 90     | 15  | 105 | 1,426   | 840 | 4              | 87      | 7  |
| 2012 |     | 2,656  | 321   | 2,977  | 71     | 15  | 86  | 899     | 797 | 2              | 92      | 7  |
| 2011 |     | 4,656  | 518   | 5,174  | 41     | 10  | 51  | -       | -   | -              | 73      | -  |
| 総所蔵数 |     | 11,106 | 1,054 | 12,160 | 124    | 15  | 139 | 1,661   | 782 | 4              | 301     | 7  |

※4/1-3/31の集計

※視聴覚資料の受入数は単体のみとし、本体のある付録資料は除く。

※電子ジャーナルは出版社(学協会含む)、アグリゲータ(複数の出版社の電子ジャーナルを提供する業者)を含む。また出版社、業者の所在により国内、国外とする。

## Ⅷ. 保健室

### 1 保健室の利用、整備、及び啓蒙活動に関する報告

1) 年間の保健室利用（ベッド使用・救急箱使用）に関する集計

(1) ベッド使用状況

| 件数 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 1年 | 1  | 1  | 1  | 2  | 0  | 0  | 1   | 0   | 0   | 1  | 1  | 0  | 8  |
| 2年 | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  |
| 3年 | 1  | 0  | 2  | 1  | 0  | 0  | 0   | 1   | 1   | 1  | 0  | 0  | 7  |
| 他  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 1   | 0   | 0  | 0  | 0  | 2  |
| 合計 | 3  | 1  | 3  | 3  | 0  | 0  | 1   | 2   | 1   | 2  | 1  | 0  | 17 |

(2) 救急箱等使用物品状況（ベッド利用者も含む）

| 件数 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 1年 | 3  | 2  | 1  | 3  | 1  | 0  | 5   | 3   | 1   | 2  | 2  | 0  | 23 |
| 2年 | 0  | 1  | 0  | 1  | 0  | 0  | 4   | 2   | 1   | 0  | 0  | 0  | 9  |
| 3年 | 0  | 0  | 1  | 1  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 0  | 0  | 0  | 2  |
| 他  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0  | 1  | 0   | 2   | 0   | 0  | 0  | 0  | 4  |
| 合計 | 3  | 3  | 2  | 6  | 1  | 1  | 9   | 7   | 2   | 2  | 2  | 0  | 38 |

2) 学生の健康相談状況、及び感染症報告

(1) 保健室メールの使用状況

4件／年（2015年3月31日現在）

(2) 健康相談の件数（健康診断結果から受けた相談を含む）

| 学年 | 人数（人） |
|----|-------|
| 1年 | 8     |
| 2年 | 1     |
| 3年 | 1     |

## 2 健康診断の結果に関する報告

5月下旬に健康診断の結果報告を受け、全学生に対して、結果表と対応についての説明文を付けて配布した。詳細は下記のとおりであった。

| 1年生 |    |      |
|-----|----|------|
| 判定  | 人数 | 割合%  |
| A   | 6  | 6.6  |
| B   | 11 | 12.1 |
| C   | 66 | 72.5 |
| D   | 2  | 2.2  |
| G   | 6  | 6.6  |
| 合計  | 91 | 100  |

| 2年生 |    |      |
|-----|----|------|
| 判定  | 人数 | 割合%  |
| A   | 42 | 51.2 |
| B   | 27 | 32.9 |
| C   | 11 | 13.4 |
| D   | 0  | 0    |
| G   | 2  | 2.4  |
| 合計  | 82 | 100  |

| 3年生 |    |      |
|-----|----|------|
| 判定  | 人数 | 割合%  |
| A   | 32 | 41.6 |
| B   | 22 | 28.6 |
| C   | 22 | 28.6 |
| D   | 0  | 0    |
| G   | 1  | 1.3  |
| 合計  | 77 | 100  |

A：今回の検査では異常を認めません

B：わずかな異常を認めますが日常生活上の心配はありません

C：生活習慣の見直しや継続的な経過観察が必要なものが主です

D：治療が必要です

G：精密検査が必要です

## IX. 管理運営

### 1 教授会

構成員：学長、教授（9名）

構成員以外の出席者：理事長

列席者：事務局長、財務部長、学務課係長代理、総務課係長、総務課職員

開催状況：26回（臨時開催含む）

|       |               |       |                |
|-------|---------------|-------|----------------|
| 第1回   | 平成26年4月1日（火）  | 第12回  | 平成26年10月9日（木）  |
| 第2回   | 平成26年4月9日（水）  | 第13回  | 平成26年10月23日（木） |
| 第3回   | 平成26年4月23日（水） | 第14回  | 平成26年11月13日（木） |
| 第4回   | 平成26年5月21日（水） | 第15回  | 平成26年11月20日（木） |
| 第5回   | 平成26年5月28日（水） | 臨時第3回 | 平成26年11月27日（木） |
| 臨時第1回 | 平成26年5月28日（水） | 第16回  | 平成26年12月11日（木） |
| 臨時第2回 | 平成26年6月10日（火） | 臨時第4回 | 平成26年12月18日（木） |
| 第6回   | 平成26年6月18日（水） | 第17回  | 平成27年1月8日（木）   |
| 第7回   | 平成26年7月2日（水）  | 第18回  | 平成27年1月22日（木）  |
| 第8回   | 平成26年7月16日（水） | 臨時第5回 | 平成27年1月29日（木）  |
| 第9回   | 平成26年7月30日（水） | 第19回  | 平成27年2月12日（木）  |
| 第10回  | 平成26年9月10日（水） | 第20回  | 平成27年3月5日（木）   |
| 第11回  | 平成26年9月24日（水） | 第21回  | 平成27年3月19日（木）  |

### 主な審議事項

#### 1) 教育・学生に関すること

チューター制・1年生学年主任、教員選考委員会発足、非常勤講師の追加、既修得単位認定、実習時のアパート対応、学生の表彰制度、今後の科目担当者の変更、GPA制度、専任教員の採用、学生の復学・退学、GPA制度に代わる学生の授業評価、科目担当者の追加、統合と実践の臨地研修、授業計画、1期生卒業に関する計画、国家試験、教務・学年・国試合同会議、模擬試験の報告、推薦書の発行、新規採用教員の科目、実習の授業計画、卒業見込証明書の発行要件、学生のボランティア参加の流れ、亀田病院の就職ガイダンス及び採用試験、平成27年度入学式、入試選抜方法と入学後の成績、推薦書の記入者、平成27年度 小児保健看護学援助論の担当者、受講資格（シラバス記載）、保護者への成績送付の提示内容、平成26年度 進級判定、学生および教職員のBLS研修、カリキュラムマップ、平成27年度FD計画、平成27年度国試年間計画

#### 2) 入試に関すること

平成26年度入学者決定、入試日等の変更、推薦入試における指定校決定の基準、平成26年度入学試験成績開示、入試時の面接室、指定校入試における指定人数、一般入試における出題と採点、推薦入試合格者に対する入学前学習、面接評価用紙、推薦入試の合否判定、平成26年度一般入試I期合否判定、センター試験利用入試の合否判定、一般入試（II期）合否判定、平成28年度入試日程

### 3) 管理運営に関すること

教授会の審議、規定・規則・細則の制定等、学校教育法改正に伴う規則の整備、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における協定の締結、オルカ鴨川FCとの協定書締結、鴨川市国際交流協会への入会、学内領域の編成、学校法人鉄蕉館組織図等、大学院設置準備室の発足と大学院プロジェクトの位置づけ、将来構想検討会、特定行為研修の取り扱い、千葉県健康福祉センター基金への応募、平成27年度学生募集活動費、平成27年度年間スケジュール、平成27年度学年暦、海外演習における危機管理マニュアル、平成25年度事業報告、平成27年度事業計画、平成27年度運営目標、鴨川市津波避難訓練、設置状況履行状況調査等の結果等、設置計画履行状況等調査の結果への対応、

## 2 学科会議

構成員：学長、教授（9名）、准教授（6名）、講師（7名）、助教（10名）、助手（4名）

事務局長

列席者：学務課係長代理、総務課係長、総務課職員

### 開催状況：10回（臨時開催含む）

|     |               |      |                |
|-----|---------------|------|----------------|
| 第1回 | 平成26年5月21日（水） | 第6回  | 平成26年11月13日（木） |
| 第2回 | 平成26年6月18日（水） | 第7回  | 平成26年12月11日（木） |
| 第3回 | 平成26年7月16日（水） | 第8回  | 平成27年1月22日（木）  |
| 第4回 | 平成26年9月10日（水） | 第9回  | 平成27年2月12日（木）  |
| 第5回 | 平成26年10月9日（木） | 第10回 | 平成27年3月12日（木）  |

### 主な取扱事項

教授会報告、委員会報告、亀田医療大学事業報告、3法人情報共有化についての打ち合わせ、亀田総合病院アルバイト学生支援、理事長との教員面談、教員の個別資料の「教職員フォルダ」での公開可否、学内グループウェア刷新、学長裁量経費特別研究費配分、千葉県下看護学校長会議、日本私立看護系大学協会、新理事・評議員紹介、チューター制、法人組織図等、大学院進捗状況、平成27年度科研費、設置計画履行状況調査現地調査、来年度入学式日程・スケジュール、亀田総合病院看護部師長会報告、鴨川市総合計画の策定・マスタープランの改訂、大学祭報告、研究活動上の不正行為防止に関する規程、労働安全衛生に関する規程、ACに関する講演会、平成27年4月1日付人事異動、平成27年度委員会編成、平成27年度会議開催方針、教員の退職

### 3 委員会活動

#### 教員選考委員会

構成員：各5名

担当事務：木内 千津子

#### 会議開催状況

教員選考委員会（在宅看護学 助教又は助手）1回

教員選考委員会（成人・老年看護学 准教授）3回

教員選考委員会（成人看護学 助教）1回

教員選考委員会（マクロ看護学－地域看護学 教授、准教授又は講師）3回

#### 審議事項・活動内容

各領域の教員採用について、公募の決定、募集要項の審議をし、大学ホームページ及び研究者人材データベースにて求人公募を実施。

応募者の選考、教授会の審議を経て、学長へ審査結果の報告等を行った。

#### 今後の対応・課題

設置計画の着実な履行のため、平成 27 年度中の教員確保が行えるよう、公募活動を実施していく。より公正な選考ができるよう、長期的には制度の見直しも考えられる。

## 評価委員会

構 成 員：米林 喜男、クローズ 幸子、恵美須 文枝、休波 茂子、平山 香代子  
江羅 茂、堀 強  
担当事務：安田 紫音、平川 弘一

### 会議開催状況

開催回数：8回

### 審議事項・活動内容

#### 1) 教員人事評価制度の作成

教員の昇進に関わる人事評価制度について、作成に着手した。作成に際し、他大学の評価制度を参考としている。評価は、①研究業績、②教育業績、③社会貢献及び④管理運営実績の4点から評価することとしている。

また、長期的にはティーチング・ポートフォリオを教育業績評価に導入することを予定している。

#### 2) 設置の趣旨における自己点検評価

設置の趣旨において実施することを記載した自己点検評価について、評価項目、評価根拠資料、担当部署等を整理した上で実施することとした。過年度分については、年報別刷として作成することとした。

#### 3) 授業評価アンケート

学生による授業評価アンケートの分野別平均点結果を大学HP上で公開することとし学長により決定された。

#### 4) 教員による授業評価

教員による授業評価について、前期終了後及び後期終了後に実施し、翌年度に公開することを確認した。

### 今後の課題・対応

#### 1) 教員人事評価基準の作成

完成年度後に昇進させることが可能なように、7月末を目途に人事評価基準の作成を進める。

#### 2) 設置の趣旨における自己点検評価

9月末日までに作成する。過年度分についても作成を進める。

#### 3) 実習における授業評価アンケートの様式を、実習委員会と連携して作成し、運用できるようにする。

#### 4) 学生による授業評価アンケートの結果の利用（教員面談、実習総括等）手続について、詳細を定める。

## 入試委員会

構 成 員：新田 静江、大石 昌也、小幡 光子、吉川 一枝、新居 富士美、平山 香代子、  
宮城 孝満  
江羅 茂、碓井 豊一、宮本 聖子  
担当事務：宮本 聖子

### 会議開催状況

入試委員会開催回数：9回 実行部会開催回数：4回

### 審議事項・活動内容

#### 1) 入試委員会運営

- ・入試委員会規則修正，専門部会（実行部会）内規，入試実行部会マニュアルを作成した。

#### 2) 入学試験関連業務

- ・試験日を公募推薦入試と指定校推薦入試を同日とし，一般入試Ⅱ期を1日に変更し，入試会場は，一般入試は本学と東京会場，センター試験利用は本学のみに変更して実施した。
- ・推薦入試，一般入試，センター試験利用入試の募集要項を作成した。推薦入試（指定校）における指定校決定基準として，在学生在が存在し高校が指定校となることを希望している場合とした結果，新規の9校を追加し総計78校94名となった。
- ・地域の人材育成を目的に，安房・夷隅地域に位置する6校（県立安房，県立長狭，県立安房拓心，県立大多喜，千葉県安房西，文理開成）では，指定枠の上限を設けないことを決定した。
- ・入学試験成績開示について，対象者を一般入試とセンター試験利用入試の受験者とし，科目得点，面接結果等を開示し，受験票の原本と開示申請書提出にて申請することを決定した。
- ・広報委員会からの要請を受け，高校からの指定校依頼申請期限を10月15日とし，来年度入試からは9月末日と決定した。

#### 3) 入学試験

- ・前年度入試成績を分析し，推薦入試の小論文の出題，一般入試の学科試験の出題について検討した。
- ・面接評価用紙を修正し，評価視点3項目と調査書における修学状況1項目とコメント記載欄で構成され，一般入試Ⅰ期以降に実施した面接試験の評価点C・Dはコメントを記載することとした。

#### 4) 入学者選抜結果

- ・入学者は推薦入試（指定校・公募）で51名（倍率1.14倍），一般入試Ⅰ期で27名（2.19倍），一般入試Ⅱ期で5名（2.67倍），センター試験利用で4名（1.30倍）の合計87名であった。

#### 5) その他

- ・入試区分別の在学生の成績を分析し，自然科学系科目の平均点が一般入試入学者に高く，再試率は推薦入試入学者に高いこと等が示されたことから，推薦入試合格者に入学までに生物学・化学の学習を助言する文書を送付することとした。
- ・受験生確保策に学生による高校の教員宛手紙郵送を計画したが，応じた学生は皆無であった。

### 今後の課題・対応

- 1) 適切な入学者を選抜するために，小論文および学科試験問題を推敲する必要がある。
- 2) 面接試験における2名の面接者間の評価点の不一致がみられているため，面接評定の基準設定を検討し，選抜方法の適切性を図ることが課題である。

## 図書・情報管理委員会

構成員：米林 喜男、佐藤 真由美、有家 香、金澤 貴子、工藤 由美、小林 美奈子、  
宮城 孝満、柚山 香世子  
堀 強、稲葉 京子、立野 幸子  
担当事務：立野 幸子

### 会議開催状況

開催回数：11回

### 審議事項・活動内容

#### 1) 図書館

- (1) 委員会運営の検討・規則改定
- (2) 図書館利用規程の改定
- (3) 図書館開館スケジュールの確認
- (4) 開館時間延長（試行）の検討
- (5) 亀田グループ図書室との連携
- (6) 国立国会図書館デジタル送信サービス申請
- (7) 文献取寄のため外部機関サービス登録
- (8) 客員研究員のサービス内容確認
- (9) 一般学外者・実習指導者研修者の利用の実施
- (10) 「研究費等資料検索」の学内LAN公開
- (11) 図書館蔵書以外の資料の管理・運用検討
- (12) 図書資料装備の変更
- (13) 学習・研究支援の報告・検討
- (14) グループワーク室運用変更
- (15) 小展示の企画・実施
- (16) 国試委員会と共同しての国試対策
- (17) 蔵書点検の実施・報告
- (18) 学生便覧・年報掲載文確認
- (19) 次年度予算の承認・運用確認

#### 2) 選書

- (1) 選書方針・購入方法の運用確認
- (2) 図書館資料のトライアル・購入・受入検討（購入・寄贈）

#### 3) 情報管理

- (1) 講義資料のデータ利用について検討
- (2) 亀田医療大学個人情報関連の規程作成・検討
  - ・個人情報保護規程
  - ・プライバシーポリシー
  - ・学術研究の用に供する個人情報保護規程
  - ・個人情報利用願い（案）

## 人権委員会

構 成 員：宮本 眞巳、足立 智孝、真野 響子、柚山 香世子、藤枝 悦子、  
満田 稔（外部委員）  
担当事務：木内 千津子

### 会議開催状況

開催回数：1回

### 審議事項・活動内容

#### 1) ハラスメント相談窓口

人権委員会の下に、ハラスメント相談員として5名の教職員を配置し、学生、教職員からの相談窓口としており、相談内容、及び相談者の意向に応じて、人権委員会としての対応について協議を行った。

#### 2) ハラスメント防止に向けた活動

全学年を対象に年2回、前期、後期の始まりに合計6回、ガイダンスの一環としてハラスメント防止研修を行った。内容としては、ハラスメントの本質が人権侵害にあること、ハラスメントの種類と類型、ハラスメントと人間関係やコミュニケーションとの関連、具体的なハラスメント防止対策等に加え、近年深刻化している SNS 上のハラスメント、看護学生と関連の深い臨床場面におけるハラスメントに力を入れた。

### 今後の対応・課題

教職員を対象として、教職員組織内におけるハラスメント防止、ならびに学生のハラスメント防止に向けた支援力の向上に向けた研修の実施が課題であり、内容や実施方法について検討中である。

## 研究倫理審査検討委員会

構 成 員：足立 智孝、新居 富士美、小幡 光子、佐久間 夕美子、宮城 孝満

担当事務：橋本 昂一郎、平川 弘一

### 会議開催状況

開催回数：3回

### 審議事項・活動内容

- 1) 総合研究所客員研究員の研究倫理審査について  
総合研究所客員研究員が研究代表者としての研究を倫理審査する時の審査手続きについて検討した。
- 2) 迅速審査の導入について  
他機関の研究倫理審査委員会の承認を受けた研究を本学で審査する場合に、迅速審査を行うことにした。また迅速審査を実施できるよう規程等を改正した。
- 3) 亀田総合病院臨床研究審査委員会との協議  
本学教員が亀田総合病院臨床研究審査委員会で審査する場合について、書式の改善等について行い、改善を図っていくこととなった。
- 4) 研究倫理研修の改善について  
平成 27 年度から研究倫理研修に e ラーニングプログラムを導入することを検討し、平成 27 年度は新規プログラム導入への移行期間とし、平成 28 年度から同プログラムの修了を研究倫理審査申請の要件とする。
- 5) 研究倫理審査関連文書の作成ならびに改正  
迅速審査の導入ならびに各種「指針」の公表による本学の研究倫理審査に関する規程等を整備した。
- 6) 他機関所有の個人情報の研究利用について  
本学教員が他機関の個人情報（診療記録を含む）を研究目的で利用するために、「学校法人鉄蕉館 亀田医療大学 学術研究の用に供する個人情報保護規程」（案）を作成した。
- 7) 卒業研究倫理審査手続きの作成  
学生が卒業研究において人を対象とした研究を行う場合の倫理審査手続き（各種書式を含む）を作成した。
- 8) 研究倫理審査委員会の運営  
今年度は 5 回の審査委員会を開催し、新規申請 5 件、変更申請 4 件の審査を行った。

### 今後の課題・対応

- 1) 研究倫理研修の実施
- 2) 人文・社会科学系で人を対象とする研究を行う場合の指針等の作成
- 3) 本委員会の公開
- 4) 本委員会委員の倫理研修

## 保健衛生安全管理委員会

構 成 員：深谷 智恵子、真野 響子、栗栖 千幸、渡邊 八重子、鶴沢 淳子、遠藤 寛子、  
吉野 妙子、鈴木 玲子、金丸 満理子（非常勤保健師）、古谷 直子（外部委員：亀田  
病院感染管理室）、校医（必要時出席）  
担当事務：間宮 庄治、松村 広典

### 会議開催状況

開催回数：11回（定例10回、臨時1回）

### 審議事項・活動内容

#### 1) 学生保健

1年生から3年生まで全学生対象に、亀田病院健康管理センターおよび安房地域医療センターの協力を得て健康診断を実施した。健康診断で異常判定の多くは、尿たんぱく土であった。採尿方法等に問題がなかったか次年度の懸案事項になった。1年生にクオンティフェロン陽性者が3名あり、感染症科受診し3名とも6か月の内服治療を受けその後問題なしとなった。

#### 2) 小児感染症およびHBワクチンの接種について

母子手帳によるワクチン接種歴を参照にワクチンフローに従って抗体価の低い学生に対し、接種ワクチンを接種（接種状況は保健室運営報告予防接種の項参照）。HBワクチンは、1年生ほぼ全員、2年生数人に実施した。百日咳ワクチン接種は4月まで任意接種であったが、7月に急遽亀田病院で実習する場合は全員の接種を求められた。2年生と3年生2/3（昨年度未接種者）に接種した。

#### 3) 感染症対策

##### (1) インフルエンザ

1～3年生対象にインフルエンザワクチンの接種を行った。卵アレルギーなど体質的に問題があり摂取できなかった若干の学生を除いて全員接種を行った。その結果、インフルエンザに感染し登校停止になった学生は5名程度であった。感染者が出るたびに全学的に情報を提供し、マスクの着用、手洗い、うがいなどの予防策を実施した。

##### (2) 感染性胃腸炎

ノロウイルスは感染者が出ると急速に広まり、授業スケジュールや実習のローテーションにも影響を与える為、徹底的な予防と感染防止対策を取った。各講義室に嘔吐処理キットを設置し、吐物などの処理、感染者の隔離対策を学生および教職員へ説明し協力を得た。感染性胃腸炎の報告は数例あったが、その都度清掃員の協力を得て、トイレ洗面所の清掃・消毒徹底した。

##### (3) サルモネラ菌感染

7月に数十名の学生に下痢症状が発生し、そのうち1名がサルモネラ感染と診断を受けた。亀田病院の感染管理室および保健所へ相談したところ、出所がはっきりしなかったこと、感染者数が少なかったこと、数日で収束に向かったことから集団食中毒の扱いにはならなかった。学生食堂の衛生管理、学生・教職員の手洗い等の徹底を促した。

##### (4) デング熱

学生および教職員へ危険場所への訪問、虫よけ方法を徹底するよう情報提供し注意を喚起した。

#### 4) 防災対策

津波避難訓練年1回、消防訓練年2回実施し、その都度アンケートを取り問題の検討をし、災害時の対応に備えた。

### 今後の対応・課題

学生数の増加に伴い保健室業務が煩雑になってきており、週2日の非常勤職員だけでは対応が難しくなっている。学生の健康管理のために専任の職員の配置が必要である。

## 教務・カリキュラム委員会

構 成 員：休波 茂子、吉川 一枝、太田 知子、小幡 光子、新居 富士美、平山 香代子、  
久保 幸代  
江羅 茂  
事務担当：碓井 豊一、安田 紫音

### 会議開催状況

開催回数：12回

### 審議事項・活動内容

- 1) 前期・後期ガイダンスの実施
- 2) 履修登録の実施
- 3) 既習修得単位の認定
- 4) 中間・定期試験、再試験の実施
- 5) 成績評価と単位認定、進級判定
- 6) GPA 制度の導入の検討
- 7) 平成 27 年度新非常勤講師の追加、変更等  
臨床薬理学Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、看護と法律など
- 8) 平成27年度学年暦の検討
- 9) 平成27年度学生便覧作成（修正）
- 10) 平成27年度シラバス作成（修正）
- 11) 平成27年度時間割の調整と作成
- 12) 平成27年度ゲストスピーカーの決定
- 13) 基礎ゼミナールの担当者の検討
- 14) 研究ゼミナールの準備・調整
- 15) 学生の退学・復学の対応
- 16) 成績フィードバック体制の検討  
・時期と実施方法について・保護者への提示方法について
- 17) 卒業見込証明書の発行要件の検討
- 18) 平成 27 年度看護実践能力修得評価の取り扱い
- 19) 教育内容の点検と改善（AC 対応）
  - (1) カリキュラムマップの作成と検討（FD 委員会との連携）
  - (2) 看護教育の基礎となる分野の教育内容と教育法の検討（リメディアル教育の導入を含む）  
英語、化学、生物、数学など
  - (3) オムニバス教科の担当者の回数や内容の確認
  - (4) 授業内容の確認と適正な実施に向けての検討
  - (5) CAP 制度及び取得単位の可視化
- 20) その他
  - (1) 学生の授業態度への指導
  - (2) VOICE ボックスの対応
  - (3) 新規採用教員の科目の検討

### 今後の対応・課題

開学 3 年目の平成 26 年度は、設置計画履行状況等調査を受け、教育内容の点検と改善等の指摘

を受けた。平成 27 年度は、以下のことを課題とする。

- 1) 教員による教育力向上への支援
  - (1) 効果的な講義・演習・実験の実施とその評価
  - (2) FD との連携による教員の教育力向上の検討
- 2) 教育内容の適正な実施
  - (1) 看護教育の基礎となる分野（英語、化学、生物、数学など）の教育内容と方法の改善とその評価
  - (2) 学生への科目の位置づけ、科目の順序性、科目間の関連、教育内容等の確実な説明
  - (3) シラバスにある教育内容に沿った授業の実施
- 3) 学生の学習への支援
  - (1) 学生の単位修得への指導と支援（学修支援）
  - (2) 学生の主体的な授業参加への支援（授業態度の育成）
  - (3) 進級への支援（2 年次進級判定）
  - (4) 単位不足の学生への指導と支援
  - (5) 基礎ゼミナール及び研究ゼミナールの評価
  - (6) 卒業判定と看護師国家試験合格に向けての支援（進路支援委員会連携）
- 4) その他
  - (1) 進級判定の見直しと検討
  - (2) 非常勤講師による授業内容の評価
  - (3) 授業展開、カリキュラムの検討

## 臨地実習委員会

構 成 員：真野 響子、休波 茂子、太田 知子、東 晴美、平山 香代子、久保 幸代、  
栗栖 千幸、小林 美奈子、遠藤 寛子  
江羅 茂  
担当事務：碓井 豊一、安田 紫音

### 会議開催状況

開催回数：11回

### 審議事項・活動内容

平成 26 年度は、初めての 3 年生の領域別実習が開始になる年であり、効果的な実習を実施できるための環境整備と、実習施設との連携体制づくりを中心に活動した。

#### 1) 臨地実習全体についての取り決め

臨地実習に伴う交通費・健康診断等の大学負担についてのルールを作成した。

平成 27 年度 1～4 年生までの臨地実習計画を作成し、亀田医療技術専門学校と調整を図った。

臨地実習期間中に教員が使用する携帯電話について審議し導入した。

#### 2) 学生による授業評価アンケート(実習)の実施

臨地実習用の授業評価アンケート案を作成し、実施方法についても評価委員会等と連携し検討した。

#### 3) 臨地実習要項・看護技術習得度表の作成

臨地実習要項(共通)の改定を行った。科目ごとの臨地実習要項については、委員会でとりまとめを行った。

卒業時の到達目標を設定し、看護技術習得度表を作成した。

#### 4) 臨地実習環境の整備

亀田医療技術専門学校旧 2 号館の環境を整備し、使用方法のマニュアルを作成した。

亀田メディカルセンターの電子カルテ閲覧に伴う取り決めと学生証によるセキュリティーカード機能付与に伴うルールを作成した。

臨地実習に伴うマイクロバスの運用について審議した。

#### 5) 学生ガイダンスの起案と実施

#### 6) 臨地実習報告会の開催

### 今後の対応・課題

平成 27 年度は、1 年生の基礎看護学臨地実習 I から 4 年生の看護の統合と実践臨地実習まで、すべての臨地実習が展開される。このため、委員会としては、より学生が効果的な臨地実習を行うことができるよう、授業評価アンケート等に基づいて、より効果的で質を保证するための環境整備と、臨地との連携体制を強化するための科目への支援を実施する必要がある。

#### 1) 平成 28 年度の臨地実習計画の作成と調整会議の実施

亀田医療技術専門学校に加え、安房医療福祉専門学校の臨地実習も開始となるため、実習施設の使用について調整する。

#### 2) 臨地実習環境の整備

亀田メディカルセンターの新電子カルテ(Ao Lani)の取扱い規定および使用マニュアルの作成

#### 3) 臨地実習要項関連

臨地実習要項(共通)の改定と看護技術習得度による卒業時の評価

#### 4) 臨地実習報告会と亀田総合病院臨床指導会議の開催

## 学生委員会

構 成 員：吉川 一枝、足立 智孝、休波 茂子、佐久間 夕美子、佐藤 真由美、中島 洋一、  
松丸 直美、臼井 綾子（平成 26 年 12 月まで）  
江羅 茂、庄司 良幸  
担当事務：松村 広典、宮本 聖子

### 会議開催状況

開催回数：12 回

### 審議事項・活動内容

#### 1) 学生委員教員役割の再検討

昨年に引き続き、①自治会担当、②部・サークル活動担当、③学生住宅担当、④イベント担当、⑤ガイダンス担当の担当教員を決め、学生支援にあたった。昨年は大学祭窓口を別途設けていたが、今年度は自治会担当者が兼務し教員数を 2 人から 3 人に増やした。委員会で各担当部署の状況を報告し、委員会内で共通理解を図った。

#### 2) 自治会学生と学生委員会教員との交流会の開催

窓口となる教員を 3 名配置し、自治会運営や大学祭等の行事について様々な角度から助言を行った。また、6 月には学生自治会に対する教育的関わりの必要性の観点から、自治会学生と学生委員との交流会を開催し、学生自治会と学生委員との意思疎通を促進した。

#### 3) チューター制の実施

チューターの役割に「国家試験に向けた支援」を追加し、全教員の共通理解を図った。各チューターは個々の学生に対し、学生面接を実施し、個別支援を行った。また、必要時保護者と連携し、学生の修学や生活支援を行った。また、次年度のチューターグループの編成を行った。チューター制の評価については、次年度（27 年度）、完成年終了時に実施する。

#### 4) 性教育講演会の開催

10 月亀田総合病院産婦人科医師、遠見才希子先生による講演会を開催した。  
多くの学生の参加を得た。次年度は夏休み前に 1 年生を対象に計画していく。

#### 5) 自習スペースに関する時間延長等について

自習スペースの時間延長について検討した。従来は土・日閉館や一部 8 時半、9 時開館であったが、次年度からは平日、土曜日、日・祝日を含め、7 時 30 分から 22 時までとし、利用時間を追加・延長することにより学生の自習時間を確保し、充実させた。

#### 6) ボランティア参加の流れについて

これまでボランティア参加の流れについて不明確であったため、フローを検討した。  
また、新規にボランティア活動願を作成した。活動願には個人および団体参加が明記され、部活・サークルなど団体でのボランティア参加状況を学生自治会が把握しやすくした。

### 今度の対応・課題

- 1) 保護者懇談会の開催
- 2) チューター制の評価
- 3) 卒業関連行事に関する支援
- 4) 学生の満足度調査

## 進路支援委員会

構 成 員：太田 知子、真野 響子、深谷 智恵子、大石 昌也、工藤 由美、有家 香、  
金澤 貴子、吉野 妙子、碓井 豊一  
事務担当：松村 広典

### 会議開催状況

開催回数：8回

### 審議事項・活動内容

- 1) 国試模擬試験等の実施
- 2) 進路希望調査の実施
- 3) 各種ガイダンスの実施
- 4) 国家試験対策における指導体制

### 今後の対応・課題

- 1) 委員会全体
  - ・効果的な委員会運営
  - ・各委員の役割分担の明確化等、会運営に向けての体制作り
  - ・平成 27 年度の進路支援委員会の評価
  - ・平成 28 年度の進路支援委員会の活動案の立案
- 2) 国家試験対策（特に 4 年生）

国家試験対策においては、全ての教員の協力が必要。

  - ・国試模擬試験の実施（4 年・3 年・2 年）
  - ・各種ガイダンスの実施
  - ・チューター面接の強化（研究ゼミナールとの連携）
  - ・教科の補講実施
  - ・教員・父兄へ国家試験研修の実施
  - ・国家試験受験手続等の支援
- 3) 学生の就労支援

## FD (SD)・ユニフィケーション支援委員会

構成員：小幡 光子、久保 幸代、東 晴美、新居 富士美、大石 昌也、渡邊 八重子、  
高橋 道明、松丸 直美、中川 泰弥、羽田 洋一  
担当事務：橋本 昂一郎

### 会議開催状況

開催回数：12回

### 審議事項・活動内容

#### 1) 審議事項

- ・平成26年度 第1回実習指導者研修会企画立案・実施・運営、総括
- ・平成26年度 FD研修企画立案・実施・運営、総括
- ・平成27年度 第2回実習指導者研修会企画立案
- ・AC実地調査によるFD活動に関する検討
- ・カリキュラムマップ作製について

#### 2) 活動内容

##### (1) 実習指導者研修会 (全8回)

第1回 (6/7)：自己の教育体験の振り返り①、看護とは・教育とは・看護学教育とは

第2回 (7/5)：カリキュラムとは・看護学教育における実習の位置づけ、若者論

第3回：若者ウォッチング

第4回 (8/2)：自己の教育体験の振り返り②、若者ウォッチング・ワールドカフェ

第5回 (8/23)：実習指導の原理、実習指導方法、実習指導評価

第6回 (9/6)：臨床における実習プラン、実習プランの作成

第7回：実習プランの実施

第8回 (11/1)：実習プランの評価、実習指導者の役割についての考察、今後の課題の明確化

##### (2) FD研修 (全7回)

第1回 (4/15)：「看護の過去・現在・未来～いま改めて看護を語る」 講師：川嶋みどり先生

第2回 (4/18)：「生活モデルに基づく地域包括ケア化の射程」 演者：猪飼修平

第3回 (5/12)：基礎臨時実習報告・交流会

第4回 (5/31)：看護の知の探求に向けて① 「<(人類)知>の歴史と<現代知>の諸課題を  
考える」 講師：高梨俊毅

第5回 (7/26)：看護の知の探求に向けて② 「日本の大学略史を踏まえながら、今後の高等(大  
学)専門職業教育を俯瞰する」 講師：高梨俊毅

第6回 (9/13)：看護の知の探求に向けて② 「日本の大学略史を踏まえながら、今後の高等(大  
学)専門職業教育を俯瞰する」 講師：高梨俊毅非常勤講師

第7回 (1/22)：カリキュラムマップの理解と科目運営に向けての検討会

##### (3) 大学・看護部ユニフィケーション連絡会の開催 (開催回数：全8回)

- ・実習指導者研修会実施の検討と実施報告
- ・看護部の研修会への講師派遣
- ・基礎実習・領域実習について
- ・両施設の情報交換

##### (4) 三法人ユニフィケーション連絡会議

- ・6月26日、医療法人鉄蕉会亀田総合病院、社会福祉法人太陽会、学校法人鉄蕉館亀田位医療技術専門学校・亀田医療大学の代表が集まり、法人間の人事交流、三法人の協定書の見直し、外

- 部講師に関するゲストスピーカー・非常勤講師の取り扱いについて審議した。
- ・今後、江羅事務局長を中心に、上記審議内容に関し実務的な整理を行っていくこととなった。

### 今後の対応・課題

平成 27 年度は、昨年度の設置計画履行状況調査における意見を基に、日々の教育活動の点検、学生の学修成果につながる適切なFD 活動への取り組みが最重要課題である。

そこで、平成 27 年度の課題は以下のとおりである。

- 1) 委員会全体
  - ・効果的な委員会運営としての年間計画の作成および目標管理システムの導入の検討
  - ・教育の質の向上を目指した FD 年間計画の明確化と実施・評価
  - ・各委員の役割分担の明確化と自主的な企画・運営に向けての体制づくり
- 2) 平成 27 年度授業展開研修
  - ・大学の教育理念、カリキュラムポリシーに基づいた授業運営を目指した教員の能力向上に向けた研修の企画・運営
  - ・研修の実施・評価
- 3) 平成 27 年度実習指導者研修会
  - ・学生の効果的な実習運営に向けた教員と実習指導者の指導能力向上に向けた研修会の企画・運営
  - ・研修会の実施・評価
- 4) その他の FD 研修企画の実施
  - ・5 月：「FD とは何か？」和住講師（千葉大学）
  - ・7 月：「実習教育について」目黒悟講師

## 研究支援委員会

構 成 員：宮本 眞巳、佐藤 真由美、恵美須 文枝、深谷 智恵子、大石 昌也、  
佐久間 夕美子  
江羅 茂  
担当事務：橋本 昂一郎、平川 弘一

### 会議開催状況

開催回数：3回

### 審議事項・活動内容

#### 1) 科研費等による研究助成への応募奨励・採択援助について

科研費応募支援のための説明会、及び研究助成を受けた教員による報告を中心とした研究交流会を開催しているが、具体的な研究計画の立案や計画書作成のアドバイスについては個別対応にとどまっていた。そこで、各教員の所属分野ごとに支援体制をとりながら、研究テーマに応じては他分野の教員も支援することを確認し教員間に周知した。

#### 2) 学長裁量経費による研究助成制度に基づく審査について

学長裁量経費による研究助成制度を活用し、応募者の審査及びその結果に基づく助言を通じて、科研費獲得の準備段階からの研究支援を行っている。

#### 3) 亀田医療大学総合研究所の組織整備について

亀田総合病院との連携により亀田医療大学総合研究所の組織整備を図り、病院および大学が開催する研究支援の活動への相互参加や共同開催、病院職員の客員研究員としての迎え入れを行った。

#### 4) 研究支援に向けた組織的活動について

文部科研費の説明会、及び助成経験者による報告会を実施し、助成未経験者を中心に、亀田総合病院職員を含め十数名の参加を見た。

研究交流会を実施し、参加教員は 25 名だったが、積極的な質疑応答が行われ、自己の研究分野以外のものを知るだけでなく、より充実した研究活動のための検討が行われた。また、実習病院からも 4 名の参加者があり、質疑にも加わった。

### 今後の対応・課題

分野ごとの研究支援に向けた活動により、科研費等による研究助成への応募状況は活性化しているが、採択件数は 2 件に止まっており、引き続き支援体制の強化が求められている。分野を越えた、研究助成を受けた実績のある教員による若手教員への情報提供と助言の体制作りが課題である。

## 国際交流委員会

構 成 員：新田 静江、足立 智孝、工藤 由美、中島 洋一、柚山 香世子、碓井 豊一  
担当事務：小原 美乃里  
オブザーバー：クローズ 幸子

### 会議開催状況

開催回数：3回

### 審議事項・活動内容

- 1) 鴨川市国際交流協会への入会  
地域における国際交流に関する情報提供や催しへの参加機会を得ることを目的に、鴨川市国際交流協会への入会を教授会に提案し、承認された。
- 2) 鴨川市青少年海外交流事業への参加  
米国ウィスコンシン州マニトワック市の高校生4名が来市する交流事業についてイングリッシュサークルに働きかけ、大学の説明と見学後に亀ママキッチンで「太巻きづくり」とスイカ割り・ゲームなどの交流活動を行った。
- 3) 海外からの来校者への対応  
6月と2月に亀田総合病院人事課からの連絡を受け、中国遼寧中医薬大学からの看護学部学生3～4名と教職員2名が大学に60～90分滞在し、大学の説明と見学、数名の学生との交流（15～30分）、お土産交換などを行った。
- 4) 海外の大学からの問い合わせへの対応  
韓国の建陽（コニャン）大学の特任教授から留学生受け入れに関する問い合わせメールが学長にあり、前向きに検討することが了承されたが、受け入れには、学則第9章、第43条2を検討する必要があることが確認された。
- 5) 情報提供と手続き担当  
国際交流に関係する案内や情報を学内掲示するとともに、受付窓口となっている。

### 今後の対応・課題

- 1) 亀田総合病院人事課との情報交換  
本学視察の準備を円滑にすすめるために、年間・月間計画などに関する情報提供を依頼する。
- 2) その他  
他大学からの来学者などに渡す大学の記念品などについて検討する。

## 広報委員会

構 成 員：恵美須 文枝、東 晴美、米林 喜男、小林 美奈子、鶴沢 淳子、高橋 道明、  
宮城 孝満、小坂 玲音  
江羅 茂、羽田 洋一  
担当事務：小原 美乃里

### 会議開催状況

開催回数 8 回（4/22、5/14、6/11、7/9、9/2、11/7、2/19、3/26）

### 審議事項・活動内容

#### 1) 高校訪問について

6 月末を目安に、千葉県内の指定校を中心に全教員に訪問を依頼した。教員間の説明内容の差をなくすため、Q & A の想定も含めた高校訪問マニュアルを用いた訪問とし、7 月以降は、在校生のいる高校や本学に関心を示す高校、資料請求の多い高校に絞って、千葉、茨城を中心に訪問し、年間の訪問件数は約 120 件となった。その他、高大連携や在校生の手紙・夏季休暇訪問という企画もあったが実施には至らなかった。また、要望のあった早い時期の 5 月訪問は、委員のみの実施となった。

#### 2) オープンキャンパスについて

平成 26 年度のオープンキャンパスは、6～8 月の期間に計 7 回開催され、参加人数は保護者を含めて 499 名、うち受験対象者 289 名となった。学内のみのコースと病院も見学するコースの 2 種の企画として行い、各回の実施後アンケートでは、参加した受験対象者のうち 76% は本学を受験予定と回答し、受験生の志望校選択の一助となったと考えられる。

#### 3) ホームページ他メディア活動

本学ホームページに関しては、学内のイベントに関するニュースを積極的に掲載した。また、学生らの学外活動(ボランティアなど)の功績も発信した。27 年度はページデザインを一新し、広報委員で掲載記事の更新ができるようなサイト作りを目指す。

大学案内冊子は、従来のカリキュラムや授業内容等の教育の頁に加えて、学生生活をより詳細に伝えるための別綴じの冊子を作成して、情報量を多くした。その他ニュースレターとしても 1 年間の主な行事を写真で紹介することを行った。

### 今後の対応・課題

- ・入学生確保を大学全体の取組みとして、全教員が高校訪問に取り組むように、FD 活動に含めた体制の中で進めてゆく必要がある。
- ・オープンキャンパスの課題としては、他大学のそれとの差別化をする為、学内コースの内容で本学の特色を出す企画を考える必要がある。またオープンキャンパスに参加する学生ボランティアに対しても、自治会との連携による運営の効率化を図る。
- ・平成 27 年度からは新企画として、専門学校との合同開催等、広報戦略上の体制を検討していく必要がある。

## 総合研究所運営委員会

構 成 員：クローズ 幸子、片多 史明、夏目 隆史、恵美須 文枝、小幡 光子、宮本 眞巳、  
足立 智孝、佐藤 真由美  
担当事務：平川 弘一

### 会議開催状況

開催回数：2回

### 審議事項・活動内容

- 1) 亀田医療大学客員研究員応募者の承認  
亀田総合病院職員を中心に、22名の客員研究員への推薦を承認した。
- 2) 運営委員会開催のタイミングと頻度について  
年度報告や科研費応募スケジュール等を考慮し、年3回（6月、10月、2月）実施することとした。
- 3) 研究学会の発足について  
委員による検討の後、現段階では、大学紀要またはそれに類するものを発刊することが、学会を発足し学会誌を発刊させるよりも適切であると判断された。なお、大学・病院等の合同発表の場の設立については、結論を保留した。
- 4) 客員研究員の研究倫理審査について  
客員研究員は、従来 of 所属機関で研究倫理審査を受審するが、本学においても受審し、それにより研究状況を把握することとした。

### 今後の対応・課題

- 1) 臨床研究支援室の活用  
平成26年度に引き続き、平成27年度以降も、大学による臨床研究支援室の活用を進めていきたい。

## 地域連携室運営委員会

構 成 員：宮本 眞巳、新田 静江、東 晴美、栗栖 千幸、渡邊 八重子、金澤 貴子、  
松丸 直美  
江羅 茂、堀 強

担当事務：栗原 佑人（11月1日より）、平川 弘一

### 会議開催状況

開催回数：6回

### 審議事項・活動内容

#### 1) いっぺさ！鴨川シアター

地域連携室主催の映画上映会を企画・運営した。会の名称を「いっぺさ！鴨川シアター」とし、平成26年度は3回実施した。詳細は、「エンディングノート」（第1回 60名）、「ニュー・シネマ・パラダイス」（第2回 32名）、「そして父になる」（第3回 73名）、である。

上映会への寄付金及び講演会費用を含めた収入は48,687円、業務用ソフトレンタル費用は187,700円であった。

多くの地域の方に見てもらえるよう、市の広報誌、地元新聞社、実習先の掲示板等で上映会の告知を行った。

#### 2) 市民公開講座

市民公開講座を企画・運営した。「ストレスを吹き飛ばせ！」をテーマに、宮本眞巳教授による講義が行われた。参加者は30名であった。

#### 3) 鴨川医療連携室会議

本委員会委員に、鴨川医療連携会議に参加しているメンバーがいることから、同会議の開催状況及び活動内容について報告がなされた。

#### 4) その他

リハビリテーション・ケア文化祭の参加、学生ボランティア募集等を行っているイベントの把握などを行った。

### 今後の対応・課題

#### 1) いっぺさ！鴨川シアター

昨年度に引き続き、上映会を定期的で開催する。より多くの地域の方に利用してもらえるよう、広告の場所を増やすなどし、認知度を上げていきたい。

#### 2) 市民公開講座

昨年度は1回の実施となったので、他の企画や、学内スケジュールを勘案しつつ、実施回数を増やしたい。また、実施方針を定め、この方針に沿った運営をしていきたい。

#### 3) 長狭高校との連携

委員長が長狭高校運営会議委員となっており、医療・福祉コースも開設されたことから、より具体的な連携活動をしていきたい。

#### 4) 学生ボランティア

学生ボランティアの状況について、今後も情報収集をしていく。学生委員会等の他の委員会や、学務課との連携の可能性もある。

## 大学院設置準備室

構 成 員：惠美須 文枝、宮本 眞巳、新田 静江、太田 知子、小幡 光子、吉川 一枝、  
原田 光子、深谷 智恵子、休波 茂子、米林 喜男、足立 智孝  
江羅 茂、堀 強  
担当事務：碓井 豊一、宮本 聖子

### 会議開催状況

開催回数：6回（5/9、5/21、6/4、9/10、9/24、10/9）

### 審議事項・活動内容

#### 1) 文科省相談

本年度第1回目の文科省相談（5/21）では、冒頭に5名の設置審関係者から、学部のAC審査期間中であること及び、設置計画の変更の重大さについて認識するようにと強い指摘を受けた。

相談内容では、コース設定、助産師資格コース教員資格等について質問し、その他申請書の記載様式・内容についての指導を受けた。

第2回目の相談指導（12/17）では、2名の担当者から領域の立て方基準、2箇所以上の校地・他3点について質問の回答を得、その他の申請書作成に関する指導を受けた。

#### 2) 設置申請書の作成

設置申請書の作成について、必要事項ごとに委員の担当を決め、申請書の内容検討及び、記載作業を分担し、申請スケジュールに沿って準備作業を進めた。

#### 3) ニーズ調査

紀伊国屋書店による第三者の実施するニーズ調査を計画し、調査検討メンバー（惠美須・新田・吉川・江羅・堀・他）と委託先との検討会議を数回行い、平成26年12月～1月にかけて千葉県南部の37病院の看護師及び看護管理者への調査が実施された。それに先立ち近隣の100床以上の病院13箇所に挨拶とヒアリングを兼ねた訪問を行った。これらの調査結果の速報を委託先から3月に受け取り、開設要望に関する結果は良好であるとの報告を受けた。

#### 4) 教育内容の検討

どのような人材を育成するか、そのための教育内容や履修方法に関する事項や施設設備等について具体的な検討を継続的に行った。

#### 5) 組織及び、メンバーの再編について

(1) 第4回プロジェクト会議（9/24）から、倫理学領域を担当する足立准教授が新たにメンバーとして加えられた。

(2) 第5回（10/9）からは、大学院設置準備室と会の名称を変更し、大学の正式な検討会議に位置づけられることとなり、室長：惠美須、副室長：宮本・新田に改められた。

#### 6) 検討計画の変更について

11月末のAC現地調査の結果を踏まえ、大学院設置は1年延期という方針が理事会決定となり、ニーズ調査等の継続中の活動以外は、今年度の1月以降の活動を休止することとなった。

### 今後の課題

- 1) 次年度において、これまでの設置準備活動の全てを一層具体的な検討として進める。
- 2) 教育課程について、設置時点での在籍教員や今後の展望を含めた計画として、再検討する。
- 3) 履修方法や研究指導の具体的な検討を行い、実際的な時間割等の作成までを行う。
- 4) 実習科目について、委託先との具体的な交渉を進める。
- 5) 全般的な設置計画内容について、文科省の相談を十分に活用する。

## X. 財務

平成 26 年度収支予算は、平成 26 年 3 月 14 日開催の評議員会及び理事会において議決、その後平成 26 年 12 月 25 日開催の評議員会及び理事会において収支補正予算を議決、これに沿って適正執行した。

平成 26 年度事業報告書及び平成 26 年度決算（財務計算に関する書類）については、平成 27 年 5 月 15 日開催の理事会で承認を得た後、評議員会に付した。

亀田医療大学の平成 26 年度決算概要等は、以下のとおりである。なお学校法人鉄蕉館に係る平成 26 年度事業報告書及び財務に関する書類は、ホームページに掲載するとともに事務所に備え付けている（年報についても、同様（図書館にも配架））。

### 1) 予算収支等

#### (1) 資金収入

学年進行に伴い学生生徒納付金収入は 405 百万円（対 25 年度+137 百万円）、前受金収入は 272 百万円（対 25 年度+55 百万円）、寄付金収入は 214 百万円（対 25 年度+105 百万円）、借入金収入 165 百万円（長期 110 百万円、短期 55 百万円）等となった。

これらの結果、資金収入総計は、1,217 百万円（対 25 年度△424 百万円）となった。  
なお、主な減額要因は前年度繰越支払資金の減及び経過勘定の純額表示に伴う減である。

| 科目        | 金額        | 備考                          |
|-----------|-----------|-----------------------------|
| 学生生徒納付金収入 | 405 百万円   |                             |
| 寄付金収入     | 214 百万円   |                             |
| 借入金収入     | 165 百万円   | 長期 110 百万円、短期 55 百万円（年度内返済） |
| 上記以外の収入   | 59 百万円    | 補助活動収入（寄宿料）、入学検定料他          |
| 前受金収入     | 272 百万円   | 翌年度の学生生徒納付金等                |
| その他の収入    | 13 百万円    | 前年度未収入金、預り金等経過勘定            |
| 資金収入調整勘定  | △216 百万円  | 前年度収入の学生生徒納付金、当年度未収入金等      |
| 前年度繰越支払資金 | 301 百万円   |                             |
| 総計        | 1,217 百万円 |                             |

#### (2) 資金支出

資金支出は以下のとおりである。人件費は専任教員増に伴い 434 百万円（対 25 年度 66 百万円増）となった。

（平成 26 年 5 月 1 日における、専任教員数は 37 名、学生は 252 名、専任教員一人当たり学生数は 6.8 名。）

教育研究費は 127 百万円（対 25 年度 9 百万円増）、管理経費は 90 百万円（対 25 年度 2 百万円増）となった。

（管理経費支出には一括借上げ学生アパートに係る借料が含まれているため、相対的に大きくなっている。）

施設整備費は、学生アパートの整備等により 145 百万円（対 25 年度+11 百万円）となった。  
これらの結果、次年度繰越支払資金は 253 百万円（対 25 年度 48 百万円減）となり経営基盤が平成 25 年度末に比して弱体化した。

| 科目        | 金額      | 備考                     |
|-----------|---------|------------------------|
| 人件費支出     | 434 百万円 | 教員 333 百万円、職員 105 百万円  |
| 教育研究経費支出  | 127 百万円 | 教育に要する経費               |
| 管理経費支出    | 90 百万円  | 総務・経理・学生募集・学生住宅に係る経費   |
| その他の経費支出  | 18 百万円  | 借入金返済・利息               |
| 施設関係支出    | 145 百万円 | 学生アパートの新営等             |
| 設備関係支出    | 8 百万円   | 教育研究備品、図書等             |
| その他の支出    | 176 百万円 | 前年度未払金、預り金等経過勘定、部門間精算等 |
| 資金支出調整    | △34 百万円 | 当年度未払金、前年度前払金          |
| 総計        | 964 百万円 |                        |
| 次年度繰越支払資金 | 253 万円  |                        |

### (3) 消費収支(計算書)

消費収支計算書は、概ね民間企業の損益計算書に相当するが、いわゆる基本金組入れ制度等は学校法人特有のものである。

また、教育研究経費及び管理経費は施設・設備整備に伴う減価償却費の増により前年度より増嵩した。

なお、基本金組入額は 46 百万円（対 25 年度 382 百万円減）となった。

これらの結果、当年度消費支出の部合計は 805 百万円（対 25 年度 99 百万円増）、当年度消費収入超過額は△164 百万円（対 25 年度 493 百万円改善）、翌年度繰越消費収入超過額は△476 百万円（対 25 年度 164 百万円減）となり、経営基盤は 25 年度末に比して悪化した。

| 科目               | 金額             | 備考                 | 帰属収入割合 |
|------------------|----------------|--------------------|--------|
| 学生生徒納付金収入        | 405 百万円        |                    | 59.0%  |
| 寄付金収入            | 218 百万円        | 現物寄付含む             | 31.7%  |
| 補助金収入            | 0 百万円          |                    |        |
| 上記以外の収入          | 64 百万円         | 補助活動収入（寄宿料）、入学検定料他 | 9.3%   |
| <b>帰属収入合計</b>    | <b>687 百万円</b> |                    | 100%   |
| 基本金組入額           | △46 百万円        |                    |        |
| <b>消費収入の部 合計</b> | <b>636 百万円</b> |                    |        |
| 人件費              | 442 百万円        | 退職給与引当金含む          |        |
| 教育研究経費           | 250 百万円        | 内減価償却費 123 百万円     |        |
| 管理経費             | 104 百万円        | 内減価所脚費 14 百万円      |        |
| 借入金利息他           | 6 百万円          |                    |        |
| <b>消費支出の部 合計</b> | <b>805 百万円</b> |                    |        |
| 当年度消費収入超過        | △164 百万円       |                    |        |
| 前年度繰越消費収入超過額     | △312 百万円       |                    |        |
| 翌年度繰越消費収入超過額     | △476 百万円       |                    |        |

(4) 貸借対照表

| 科目            | 金額               | 備考             |
|---------------|------------------|----------------|
| <b>資産</b>     | <b>2,855 百万円</b> | 対 25 年度△32 百万円 |
| 固定資産          | 2,593 百万円        | 〃 +22 百万円      |
| 流動資産          | 261 百万円          | 〃 △54 百万円      |
| <b>負債</b>     | <b>742 百万円</b>   | 〃 +151 百万円     |
| 固定負債          | 397 百万円          | 〃 +79 百万円      |
| 流動負債          | 344 百万円          | 〃 +72 百万円      |
| <b>基本金</b>    | <b>2,589 百万円</b> | 〃 +46 百万円      |
| 1 号           | 2,541 百万円        | 〃 +30 百万円      |
| 4 号           | 48 百万円           | 〃 +16 百万円      |
| <b>消費収支差額</b> | <b>△476 百万円</b>  | (民間企業における自己資本) |

(5) 財務比率比較

亀田医療大学は、開学3年目を迎えた段階であり、完成年度に至っていないこと及び経常費補助は完成翌年度（平成28年度）からであること等から、財務比率は過渡的段階にある。

なお、亀田医療大学及び学校法人鉄蕉館の平成24年度以降26年度までの間の「財務比率推移（財政の状況・経営の状況）」及び「総合財務安全性レーダーチャート」は、別添資料のとおりである。

また、亀田医療大学の財務比率の最大の強みは、寄付金比率が31.8%（25年度31.7%、24年度31.6%）と保健系単科大学の平成25年度平均1.4%に比して、高いということであるが、このことは弱みとも言いえる。

負債比率は35.1%（25年度26.5%、24年度32.1%）と、自己資金構成比率は74.0%（25年度77.3%、24年度74.0%）とそれぞれ悪転、保健系単科大学全国平均（平成25年度（負債比率22.9%、自己資金比率81.4%）より劣っている。

教育研究経費比率は36.5%（25年度50.3%、24年度21.8%）と保健系単科大学全国平均26.6%を上回っており、評価できる。

流動比率は75.8%（25年度116.0%、24年度173.0%）、前受金保有率は93%（25年度139.0%、24年度330.8%）とそれぞれ悪転、いずれも全国平均より劣っている。

一方、人件費比率は64.3%（25年度75.9%）より好転したが全国平均55.6%を超えており、人件費依存率（人件費÷学生生徒納付金）は109.0%と学生生徒納付金収入で人件費をカバーできておらず、全国平均55.6%を大きく超えている。

管理経費は15.2%（平成25年度20.7%）より好転したが全国平均11.1%を超えている。その主な要因は管理経費に学生用一括借上げアパート賃料が含まれているためである。

|          |                   |        |
|----------|-------------------|--------|
| 負債比率     | 総負債÷自己資金          | 35.1%  |
| 自己資金構成比率 | 自己資金÷総資産          | 74.0%  |
| 流動比率     | 流動資産÷流動負債         | 116.0% |
| 固定長期適合率  | 固定資産÷（固定負債+自己資金）  | 103.3% |
| 前受金保有比率  | 現金預金÷前受金          | 93.2%  |
| 減価償却率    | 減価償却累計額÷減価償却資産取得額 | 12.4%  |
| 人件費比率    | 人件費÷帰属収入          | 64.3%  |
| 人件費依存率   | 人件費÷学生生徒等納付金      | 109.0% |
| 教育研究比率   | 教育研究経費÷帰属収入       | 50.3%  |

|        |           |       |
|--------|-----------|-------|
| 管理経費比率 | 管理経費÷帰属収入 | 20.7% |
|--------|-----------|-------|

自己資金＝基本金＋消費収支差額

## 2) 総括（財政基盤の強化に向けて）

私立大学に対するいわゆる経常費補助（国庫補助）は、完成翌年度からであり、また、完成年度までの間は施設・設備整備補助申請も基本的に対象外となっている。

一方、看護学部等の国家資格を目指す学部は実習等の占める割合も高く、学生数（定員・収容実員）に対する教員数が他学部等に比して相対的に高く、加えて実習設備の整備維持にも相当の費用を要することから、完成年度までのみならず完成年度以降も私立大学の主たる収入である学生生徒納付金収入及び経常費補助金では賄いきれず、施設設備整備費及び経常経費の一部は寄付金等で賄わざるを得ない状況にある。

ちなみに平成 26 年度（開学 3 年目）における経常経費は 805 百万円（25 年度 706 百万円、24 年度 478 百万円）と累増している。

本学の特徴は多岐にわたる法人及び個人からの特別寄付金に支えられていることであり、このこと自体は欧米の著名な大学に準じた特徴でもあり最大の強みとなっている。一方、特別寄付金は法人及び個人からの浄財であり、その時々々の経済情勢や個人個人の判断に左右されるものであり、予算計上額に対し未達になる場合を想定した経営が望まれる。

こうしたことから、人件費及び物件費の抑制に努めることも重要課題と言え、併せて学生満足度の向上に資する質の高い教育の提供の実現を通じて、質の高い志願者（合格者、入学者）の確保に努め、以て学生生徒納付金等の自己収入や科研費等の外部資金の確保に努めることが望まれ、経営陣（ボード）がこうした観点から経営（大学運営）に当たることが緊要となっている。

また特別寄付金は、施設設備整備費や経常経費のみならず新たに奨学金給付等を目途とするいわゆる 3 号基金の組成に取り組むことも重要な課題と認められる。

経費節減については光熱水費の節約（得に節電）や人件費の計画的抑制計画を模索するとともに学生アパートについては費用（一括借上げアパートに係る賃料並びに直営アパートに係る減価償却費及び維持費）が寄宿料収入で賄えることが望まれる。

併せて、これまでの予算執行実績等を踏まえつつ平成 27 年度には完成年度を迎えることを踏まえ、平成 27 年度以降の予算編成に際しては従前以上に関係部署から予算要求書（必要事由・積算内訳・優先度等）を徴し予算編成（査定）に反映することが肝要となっている。

加えて完成翌年度からの経常経費等に対する国庫補助を見据えて、私立大学総合改革支援事業（タイプ 1）の採択及びこれに伴う設備費要求ができるよう精力的に所要の改善方策を講じ、学生の学修環境の拡充に努めていく必要がある。

併せて、亀田医療大学創設時の計画に沿った更なる充実を目指し、亀田医療大学大学院看護学研究所（仮称（定員 15 名程度））の平成 29 年 4 月に開設（設置認可申請期限：平成 28 年 3 月 31 日）に向け、所要の作業を精力的に進めている。

加えて現状の学校法人の規模（亀田医療大学看護学部（定員 80 人）、亀田医療技術専門学校（看護学科（3 年制：定員 80 人）、助産学科（1 年制：定員 20 人））での自立的経営には亀田総合病院等の亀田グループや多岐にわたる法人・個人からの支援をもってしても限りあるため、亀田医療大学の完成（平成 27 年度）を見極めつつ早期に中期経営計画の改定（見直し）を行うことが望まれる。

亀田医療大学 財務比率比較表

単位：円

| 区分        |                                    |                      |      | 全国平均_H25<br>保健系学部              | 平成24年度                         |                                | 平成25年度                         |                                | 平成26年度                         |       |
|-----------|------------------------------------|----------------------|------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|-------|
| 学生生徒数     |                                    |                      |      |                                | 85                             |                                | 163                            |                                | 252                            |       |
| 専任教員数     |                                    |                      |      |                                | 15                             |                                | 28                             |                                | 37                             |       |
| 専任職員数     |                                    |                      |      |                                | 15                             |                                | 15                             |                                | 16                             |       |
| 役員数       |                                    |                      |      |                                | 0                              |                                | 0                              |                                | 0                              |       |
| 分類        | 項目                                 | 算式 (×100)            | 評価   | %                              | 金額                             | %                              | 金額                             | %                              | 金額                             | %     |
| 貸借対照表関係比率 | 1 固定資産比率                           | 固定資産 / 総資産           | ▼    | 73.9                           | 2,507,463,556<br>3,320,478,622 | 75.5                           | 2,571,845,811<br>2,887,343,844 | 89.1                           | 2,593,880,200<br>2,855,264,413 | 90.8  |
|           | 1-2 有形固定資産比率                       | 有形固定資産 / 総資産         | ▼    | 64.3                           | 2,505,001,664<br>3,320,478,622 | 75.4                           | 2,568,400,315<br>2,887,343,844 | 89.0                           | 2,586,120,024<br>2,855,264,413 | 90.6  |
|           | 1-3 その他の固定資産比率                     | その他の固定資産 / 総資産       | △    | 9.7                            | 2,461,892<br>3,320,478,622     | 0.1                            | 3,445,496<br>2,887,343,844     | 0.1                            | 7,760,176<br>2,855,264,413     | 0.3   |
|           | 2 流動資産比率                           | 流動資産 / 総資産           | △    | 26.1                           | 813,015,066<br>3,320,478,622   | 24.5                           | 315,498,033<br>2,887,343,844   | 10.9                           | 261,384,213<br>2,855,264,413   | 9.2   |
|           | 3 固定負債比率                           | 固定負債 / 総負債           | ▼    | 7.2                            | 319,050,693<br>3,320,478,622   | 9.6                            | 318,595,799<br>2,887,343,844   | 11.0                           | 397,653,987<br>2,855,264,413   | 13.9  |
|           | 4 流動負債比率                           | 流動負債 / 総負債           | ▼    | 11.5                           | 469,882,073<br>3,320,478,622   | 14.2                           | 271,998,187<br>2,887,343,844   | 9.4                            | 344,690,773<br>2,855,264,413   | 12.1  |
|           | 5 内部留保比率                           | 内部留保 / 総資産           | △    | 17.1                           | 26,544,192<br>3,320,478,622    | 0.8                            | -271,650,457<br>2,887,343,844  | -9.4                           | -473,200,371<br>2,855,264,413  | -16.6 |
|           | 6 運用裕資比率                           | 運用裕資 / 消費支           | △    | 1.2                            | 178,828,632<br>478,360,136     | 0.4                            | -39,909,017<br>705,764,427     | -0.1                           | -178,085,271<br>805,049,928    | -0.2  |
|           | 7 自己資本比率                           | 自己資本 / 総資産           | △    | 81.4                           | 2,458,605,323<br>3,320,478,622 | 74.0                           | 2,230,626,699<br>2,887,343,844 | 77.3                           | 2,112,919,653<br>2,855,264,413 | 74.0  |
|           | 8 消費収支差額率                          | 消費収支差額 / 総資産         | △    | -14.6                          | 343,914,478<br>3,320,478,622   | 10.4                           | -312,130,423<br>2,887,343,844  | -10.8                          | -476,771,978<br>2,855,264,413  | -16.7 |
|           | 9 固定比率                             | 固定資産 / 自己資本          | ▼    | 90.9                           | 2,507,463,556<br>2,458,605,323 | 102.0                          | 2,571,845,811<br>2,230,626,699 | 115.3                          | 2,593,880,200<br>2,112,919,653 | 122.8 |
|           | 10 固定長期適合率                         | 固定資産 / (自己資金 + 固定負債) | ▼    | 83.5                           | 2,507,463,556<br>2,777,656,016 | 90.3                           | 2,571,845,811<br>2,549,222,498 | 100.9                          | 2,593,880,200<br>2,510,573,640 | 103.3 |
|           | 11 流動比率                            | 流動資産 / 流動負債          | △    | 227.5                          | 813,015,066<br>469,882,073     | 173.0                          | 315,498,033<br>271,998,187     | 116.0                          | 261,384,213<br>344,690,773     | 75.8  |
|           | 12 総負債比率                           | 総負債 / 総資産            | ▼    | 18.6                           | 788,932,766<br>3,320,478,622   | 23.8                           | 590,593,986<br>2,887,343,844   | 20.5                           | 742,344,760<br>2,855,264,413   | 26.0  |
|           | 13 負債比率                            | 総負債 / 自己資本           | ▼    | 22.9                           | 788,932,766<br>2,458,605,323   | 32.1                           | 590,593,986<br>2,230,626,699   | 26.5                           | 742,344,760<br>2,112,919,653   | 35.1  |
|           | 14 前受金保有率                          | 現前金受 / 現前金           | △    | 274.5                          | 476,573,239<br>144,047,000     | 330.8                          | 301,157,890<br>216,603,000     | 139.0                          | 253,801,000<br>272,200,400     | 93.2  |
|           | 15 退職給与引当金比率                       | 退職給与引当金 / 特定預金(資産)   | △    | 62.1                           | 0<br>8,237,440                 | 0.0                            | 0<br>15,138,440                | 0.0                            | 0<br>22,914,700                | 0.0   |
| 16 基本金比率  | 基本金 / 基本金要組入額                      | △                    | 96.0 | 2,114,690,845<br>2,695,454,560 | 78.5                           | 2,542,757,122<br>2,822,110,991 | 90.1                           | 2,589,691,631<br>2,987,281,576 | 86.7                           |       |
| 17 減価償却比率 | 減価償却累計額(図書を除く) / 減価償却資産取得価額(図書を除く) | ~                    | 44.6 | 87,899,417<br>2,562,473,700    | 3.4                            | 219,966,693<br>2,726,098,723   | 8.1                            | 357,753,539<br>2,881,231,364   | 12.4                           |       |

|               |                                 |    |                 |             |   |       |                            |           |                             |           |                             |           |
|---------------|---------------------------------|----|-----------------|-------------|---|-------|----------------------------|-----------|-----------------------------|-----------|-----------------------------|-----------|
| 経営の状況<br>関係比率 | 消費<br>収支<br>計算<br>書<br>関係<br>比率 | 1  | 人件費比率           | 人件費収入       | ▼ | 55.6  | 239,846,785<br>746,040,032 | 32.1      | 362,066,983<br>477,251,490  | 75.9      | 442,114,147<br>687,342,882  | 64.3      |
|               |                                 | 2  | 人件費依存率          | 人件費収入       | ▼ | 69.3  | 239,846,785<br>152,850,000 | 156.9     | 362,066,983<br>268,000,000  | 135.1     | 442,114,147<br>405,750,000  | 109.0     |
|               |                                 | 3  | 教育研究経費比率        | 教育研究経費収入    | △ | 26.6  | 162,535,293<br>746,040,032 | 21.8      | 239,951,583<br>477,251,490  | 50.3      | 250,995,835<br>687,342,882  | 36.5      |
|               |                                 | 4  | 管理経費比率          | 管理経費収入      | ▼ | 11.1  | 73,999,391<br>746,040,032  | 9.9       | 98,565,536<br>477,251,490   | 20.7      | 104,552,316<br>687,342,882  | 15.2      |
|               |                                 | 5  | 借入金等利率          | 借入金等利息収入    | ▼ | 0.4   | 1,978,667<br>746,040,032   | 0.3       | 5,180,325<br>477,251,490    | 1.1       | 6,238,780<br>687,342,882    | 0.9       |
|               |                                 | 6  | 帰属収支率           | 帰属収入 - 消費支出 | △ | 5.3   | 267,679,896<br>746,040,032 | 35.9      | -228,512,937<br>477,251,490 | -47.9     | -117,707,046<br>687,342,882 | -17.1     |
|               |                                 | 7  | 消費収支比率          | 消費支出        | ▼ | 104.0 | 478,360,136<br>48,127,949  | 993.9     | 705,764,427<br>49,185,213   | 1434.9    | 805,049,928<br>640,408,373  | 125.7     |
|               |                                 | 8  | 学生生徒等納付金比率      | 学生生徒等納付金収入  | ～ | 80.3  | 152,850,000<br>746,040,032 | 20.5      | 268,000,000<br>477,251,490  | 56.2      | 405,750,000<br>687,342,882  | 59.0      |
|               |                                 | 9  | 寄付金比率           | 寄付金収入       | △ | 1.4   | 236,049,731<br>746,040,032 | 31.6      | 151,476,830<br>477,251,490  | 31.7      | 218,757,375<br>687,342,882  | 31.8      |
|               |                                 | 10 | 補助金比率           | 補助金収入       | △ | 10.7  | 332,770,993<br>746,040,032 | 44.6      | 8,899,582<br>477,251,490    | 1.9       | 102,769<br>687,342,882      | 0.0       |
|               |                                 | 11 | 基本金組入率          | 基本金組入額      | △ | 8.9   | 697,912,083<br>746,040,032 | 93.5      | 428,066,277<br>477,251,490  | 89.7      | 46,934,509<br>687,342,882   | 6.8       |
|               |                                 | 12 | 減価償却費比率         | 減価償却額       | ～ | 11.0  | 87,863,374<br>478,360,136  | 18.4      | 132,067,276<br>705,764,427  | 18.7      | 137,836,796<br>805,049,928  | 17.1      |
| 経営の状況<br>その他  | その他                             | 1  | 収容定員充足率         | 在籍学生数       | ～ |       | 85<br>80                   | 106.3     | 163<br>160                  | 101.9     | 252<br>240                  | 105.0     |
|               |                                 | 2  | 入学定員充足率         | 入学学生数       | ～ |       | 85<br>80                   | 106.3     | 79<br>80                    | 98.8      | 91<br>80                    | 113.8     |
|               |                                 | 3  | 学生1人当たりの納付金収入   | 学生生徒納付金収入   | ～ |       | 152,850,000<br>85          | 1,798,235 | 268,000,000<br>163          | 1,644,172 | 405,750,000<br>252          | 1,610,119 |
|               |                                 | 4  | 専任教員1人当たりの人件費支出 | 本専任教員給数     | ～ |       | 145,340,107<br>15          | 9,689,340 | 257,742,198<br>28           | 9,205,079 | 321,567,459<br>37           | 8,691,012 |
|               |                                 | 5  | 専任職員1人当たりの人件費支出 | 本専任職員給数     | ～ |       | 82,344,887<br>15           | 5,489,659 | 87,216,570<br>15            | 5,814,438 | 92,140,347<br>16            | 5,758,772 |
|               |                                 | 6  | 役員1人当たりの人件費支出   | 役員給数        | ～ |       | 0<br>0                     |           | 0<br>0                      |           | 0<br>0                      |           |
|               |                                 | 7  | 専任教員1人当たりの学生数   | 在籍学生数       | ～ |       | 85<br>15                   | 5.7       | 163<br>28                   | 5.8       | 252<br>37                   | 6.8       |
|               |                                 | 8  | 専任職員1人当たりの学生数   | 在籍学生数       | ～ |       | 85<br>15                   | 5.7       | 163<br>15                   | 10.9      | 252<br>16                   | 15.8      |
|               |                                 | 9  | 役員1人当たりの学生数     | 在籍学生数       | ～ |       | 85<br>0                    |           | 163<br>0                    |           | 252<br>0                    |           |

評価：△高い値が良い、▼低い値が良い

学校法人鉄蕉館 財務比率比較表

単位：円

| 区分        |                                    | 全国平均_H25<br>大学法人         | 平成24年度 | 平成25年度                         | 平成26年度                         |                                |                                |                                |                                |       |
|-----------|------------------------------------|--------------------------|--------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|-------|
| 学生生徒数     |                                    |                          | 351    | 429                            | 527                            |                                |                                |                                |                                |       |
| 専任教員数     |                                    |                          | 35     | 48                             | 55                             |                                |                                |                                |                                |       |
| 専任職員数     |                                    |                          | 22     | 24                             | 26                             |                                |                                |                                |                                |       |
| 役員数       |                                    |                          | 0      | 0                              | 0                              |                                |                                |                                |                                |       |
| 分類        | 項目                                 | 算式 (×100)                | 評価     | %                              | 金額                             | %                              | 金額                             | %                              | 金額                             | %     |
| 貸借対照表関係比率 | 1 固定資産比率                           | 固定資産 / 総資産               | ▼      | 85.9                           | 2,802,079,811<br>3,824,965,790 | 73.3                           | 3,159,308,498<br>3,799,653,069 | 83.1                           | 3,521,978,217<br>3,963,221,142 | 88.9  |
|           | 1-2 有形固定資産比率                       | 有形固定資産 / 総資産             | ▼      | 59.1                           | 2,794,987,995<br>3,824,965,790 | 73.1                           | 3,140,115,240<br>3,799,653,069 | 82.6                           | 3,502,012,483<br>3,963,221,142 | 88.4  |
|           | 1-3 その他の固定資産比率                     | その他の固定資産 / 総資産           | △      | 26.8                           | 7,091,816<br>3,824,965,790     | 0.2                            | 19,193,258<br>3,799,653,069    | 0.5                            | 19,965,734<br>3,963,221,142    | 0.5   |
|           | 2 流動資産比率                           | 流動資産 / 総資産               | △      | 14.1                           | 1,022,885,979<br>3,824,965,790 | 26.7                           | 640,344,571<br>3,799,653,069   | 16.9                           | 441,242,925<br>3,963,221,142   | 11.1  |
|           | 3 固定負債比率                           | 固定負債 / 総資産               | ▼      | 8.7                            | 467,836,374<br>3,824,965,790   | 12.2                           | 540,537,834<br>3,799,653,069   | 14.2                           | 851,547,132<br>3,963,221,142   | 21.5  |
|           | 4 流動負債比率                           | 流動負債 / 総資産               | ▼      | 5.8                            | 585,231,268<br>3,824,965,790   | 15.3                           | 560,930,791<br>3,799,653,069   | 14.8                           | 495,293,600<br>3,963,221,142   | 12.5  |
|           | 5 内部留保率                            | 運用資産 - 総負債 / 総資産         | △      | 26.4                           | -23,089,847<br>3,824,965,790   | -0.6                           | -441,930,796<br>3,799,653,069  | -11.6                          | -885,632,073<br>3,963,221,142  | -22.3 |
|           | 6 運用資産 - 外部負債 / 消費支出               | 運用資産 - 外部負債 / 消費支出       | △      | 1.5                            | 283,584,073<br>780,195,186     | 0.4                            | -42,564,276<br>1,027,138,455   | 0.0                            | -410,833,843<br>1,176,407,090  | -0.3  |
|           | 7 自己資本比率                           | 自己資本 / 総資産               | △      | 85.5                           | 2,771,898,148<br>3,824,965,790 | 72.5                           | 2,698,184,444<br>3,799,653,069 | 71.0                           | 2,616,380,410<br>3,963,221,142 | 66.0  |
|           | 8 消費収支差額率                          | 消費収支差額 / 総資産             | △      | -16.0                          | 413,330,309<br>3,824,965,790   | 10.8                           | -152,839,526<br>3,799,653,069  | -4.0                           | -579,308,383<br>3,963,221,142  | -14.6 |
|           | 9 固定比率                             | 固定資産 / 自己資本              | ▼      | 100.5                          | 2,802,079,811<br>2,771,898,148 | 101.1                          | 3,159,308,498<br>2,698,184,444 | 117.1                          | 3,521,978,217<br>2,616,380,410 | 134.6 |
|           | 10 固定長期適合率                         | 固定資産 / (自己資金 + 固定負債)     | ▼      | 91.2                           | 2,802,079,811<br>3,239,734,522 | 86.5                           | 3,159,308,498<br>3,238,722,278 | 97.5                           | 3,521,978,217<br>3,467,927,542 | 101.6 |
|           | 11 流動比率                            | 流動資産 / 流動負債              | △      | 243.4                          | 1,022,885,979<br>585,231,268   | 174.8                          | 640,344,571<br>560,930,791     | 114.2                          | 441,242,925<br>495,293,600     | 89.1  |
|           | 12 総負債比率                           | 総負債 / 総資産                | ▼      | 14.5                           | 1,053,067,642<br>3,824,965,790 | 27.5                           | 1,101,468,625<br>3,799,653,069 | 29.0                           | 1,346,840,732<br>3,963,221,142 | 34.0  |
|           | 13 負債比率                            | 総負債 / 自己資本               | ▼      | 17.0                           | 1,053,067,642<br>2,771,898,148 | 38.0                           | 1,101,468,625<br>2,698,184,444 | 40.8                           | 1,346,840,732<br>2,616,380,410 | 51.5  |
|           | 14 前受金保有率                          | 現前金受 / 現前金受              | △      | 355.6                          | 646,263,774<br>243,290,000     | 265.6                          | 463,783,222<br>330,637,000     | 140.3                          | 388,743,430<br>390,187,400     | 99.6  |
|           | 15 退職給与引当預金率                       | 退職給与引当特定預金(資産) / 退職給与引当金 | △      | 57.4                           | 0<br>63,383,920                | 0.0                            | 0<br>68,729,520                | 0.0                            | 0<br>84,610,830                | 0.0   |
| 16 基本金比率  | 基本金要組入額 / 基本金要組入額                  | △                        | 96.9   | 2,358,567,839<br>3,038,163,038 | 77.6                           | 2,851,023,970<br>3,470,479,155 | 82.2                           | 3,195,688,793<br>4,014,868,964 | 79.6                           |       |
| 17 減価償却比率 | 減価償却累計額(図書を除く) / 減価償却資産取得価額(図書を除く) | ~                        | 50.0   | 108,967,320<br>2,760,720,563   | 3.9                            | 253,247,850<br>2,931,506,948   | 8.6                            | 418,890,747<br>3,743,231,020   | 11.2                           |       |

|       |             |                   |             |   |                    |                              |                    |                              |                    |                              |       |
|-------|-------------|-------------------|-------------|---|--------------------|------------------------------|--------------------|------------------------------|--------------------|------------------------------|-------|
| 経営の状況 | 消費収支計算書関係比率 | 1 人件費比率           | 人件費収入       | ▼ | 49.0               | 423,112,776<br>1,069,933,211 | 39.5               | 550,849,664<br>953,424,751   | 57.8               | 650,012,182<br>1,094,603,056 | 59.4  |
|       |             | 2 人件費依存率          | 人件費収入       | ▼ | 94.5               | 423,112,776<br>320,980,000   | 131.8              | 550,849,664<br>434,266,000   | 126.8              | 650,012,182<br>589,510,000   | 110.3 |
|       |             | 3 教育研究経費比率        | 教育研究経費収入    | △ | 36.4               | 225,558,720<br>1,069,933,211 | 21.1               | 310,118,811<br>953,424,751   | 32.5               | 342,358,061<br>1,094,603,056 | 31.3  |
|       |             | 4 管理経費比率          | 管理経費収入      | ▼ | 7.0                | 128,030,326<br>1,069,933,211 | 12.0               | 158,049,754<br>953,424,751   | 16.6               | 170,309,226<br>1,094,603,056 | 15.6  |
|       |             | 5 借入金等利率          | 借入金等利息収入    | ▼ | 0.2                | 3,461,049<br>1,069,933,211   | 0.3                | 8,119,858<br>953,424,751     | 0.9                | 12,483,118<br>1,094,603,056  | 1.1   |
|       |             | 6 帰属収支比率          | 帰属収入 - 消費支出 | △ | 6.0                | 289,738,025<br>1,069,933,211 | 27.1               | -73,713,704<br>953,424,751   | -7.7               | -81,804,034<br>1,094,603,056 | -7.5  |
|       |             | 7 消費収支比率          | 消費費収入       | ▼ | 105.6              | 780,195,186<br>317,756,014   | 245.5              | 1,027,138,455<br>460,968,620 | 222.8              | 1,176,407,090<br>749,938,233 | 156.9 |
|       |             | 8 学生生徒等納付金比率      | 学生生徒等納付金収入  | ~ | 51.8               | 320,980,000<br>1,069,933,211 | 30.0               | 434,266,000<br>953,424,751   | 45.5               | 589,510,000<br>1,094,603,056 | 53.9  |
|       |             | 9 寄付金比率           | 寄附金収入       | △ | 2.2                | 314,352,360<br>1,069,933,211 | 29.4               | 256,154,894<br>953,424,751   | 26.9               | 305,891,186<br>1,094,603,056 | 27.9  |
|       |             | 10 補助金比率          | 補助金収入       | △ | 10.5               | 372,554,409<br>1,069,933,211 | 34.8               | 169,817,190<br>953,424,751   | 17.8               | 80,066,349<br>1,094,603,056  | 7.3   |
|       |             | 11 基本金組入率         | 基本金組入額      | △ | 11.0               | 752,177,197<br>1,069,933,211 | 70.3               | 492,456,131<br>953,424,751   | 51.7               | 344,664,823<br>1,094,603,056 | 31.5  |
|       |             | 12 減価償却費比率        | 減価償却額       | ~ | 9.9                | 99,233,848<br>780,195,186    | 12.7               | 144,414,435<br>1,027,138,455 | 14.1               | 165,778,093<br>1,176,407,090 | 14.1  |
| 経営の状況 | その他         | 1 収容定員充足率         | 在籍学生数       | ~ | 351                | 103.2                        | 429                | 102.1                        | 527                | 105.4                        |       |
|       |             | 2 入学定員充足率         | 入学者数        | ~ | 181                | 100.6                        | 181                | 100.6                        | 196                | 108.9                        |       |
|       |             | 3 学生1人当たりの納付金収入   | 在籍学生納付金収入   | ~ | 320,980,000<br>351 | 914,473                      | 434,266,000<br>429 | 1,012,275                    | 589,510,000<br>527 | 1,118,615                    |       |
|       |             | 4 専任教員1人当たりの人件費支出 | 本専任教員数      | ~ | 274,381,380<br>35  | 7,839,468                    | 391,307,137<br>48  | 8,152,232                    | 463,332,627<br>55  | 8,424,230                    |       |
|       |             | 5 専任職員1人当たりの人件費支出 | 本専任職員数      | ~ | 119,699,489<br>22  | 5,440,886                    | 122,580,063<br>24  | 5,107,503                    | 125,938,898<br>26  | 4,843,804                    |       |
|       |             | 6 役員1人当たりの人件費支出   | 役員数         | ~ | 0<br>0             |                              | 0<br>0             |                              | 0<br>0             |                              |       |
|       |             | 7 専任教員1人当たりの学生数   | 在籍学生数       | ~ | 351<br>35          | 10.0                         | 429<br>48          | 8.9                          | 527<br>55          | 9.6                          |       |
|       |             | 8 専任職員1人当たりの学生数   | 在籍学生数       | ~ | 351<br>22          | 16.0                         | 429<br>24          | 17.9                         | 527<br>26          | 20.3                         |       |
|       |             | 9 役員1人当たりの学生数     | 在籍学生数       | ~ | 351<br>0           |                              | 429<br>0           |                              | 527<br>0           |                              |       |

評価：△高い値が良い、▼低い値が良い

# 総合財務安全性分析

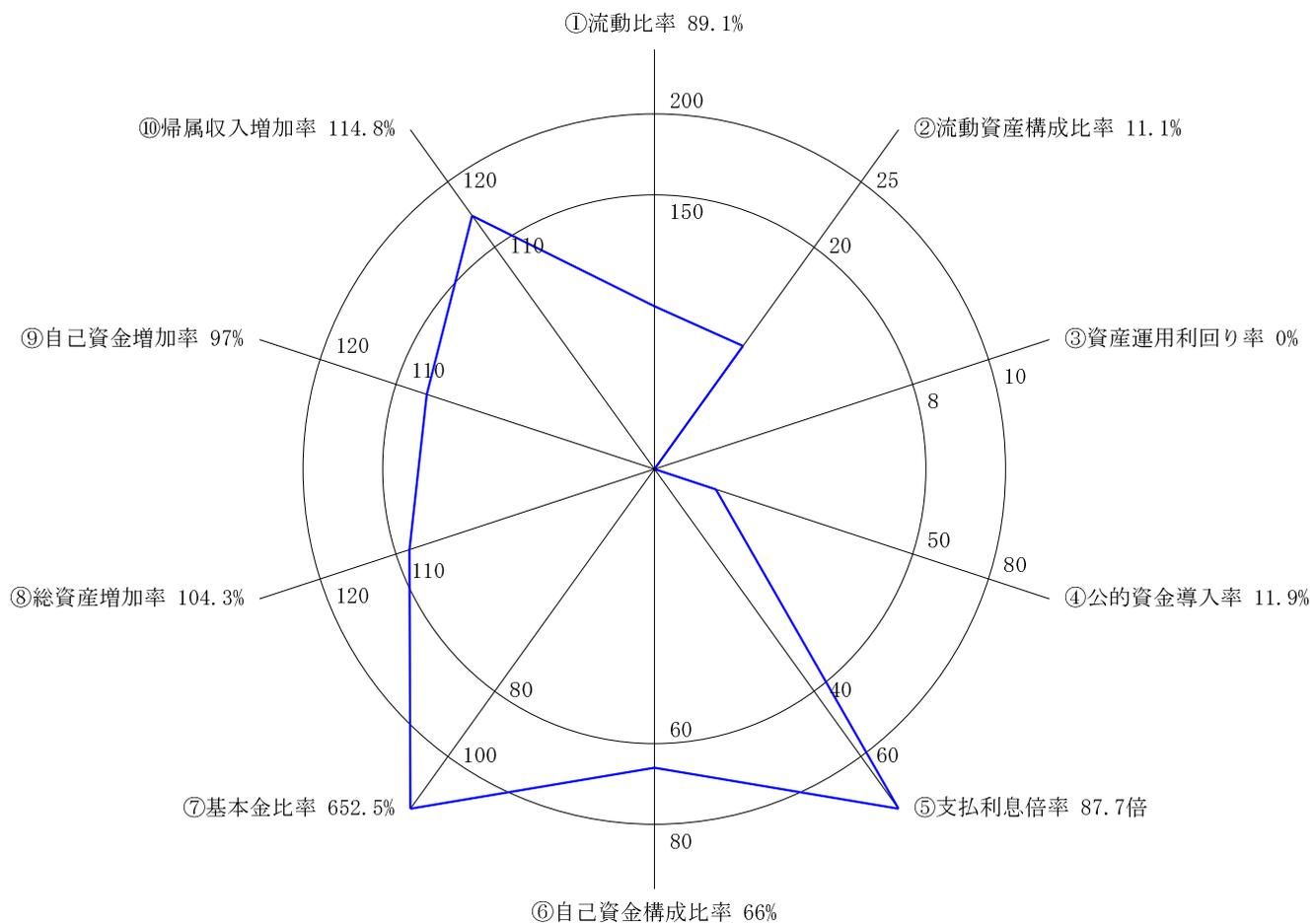
平成 26年度  
(単位：円)

学校法人 鉄蕉館／実績分析

| 項 目        | 算式 (×100)   | 金額            | 比率     | 適正值      |
|------------|-------------|---------------|--------|----------|
| 資金流動性      |             |               |        |          |
| ① 流動比率     | 流動資産        | 441,242,925   | 89.1%  | 150～200% |
|            | 流動負債        | 495,293,600   |        |          |
| ② 流動資産構成比率 | 流動資産        | 441,242,925   | 11.1%  | 20～25%   |
|            | 総資産         | 3,963,221,142 |        |          |
| ③ 資産運用利回り率 | 資産運用収入      | 184,278       | 0%     | 8～10%    |
|            | 現金預金        | 388,743,430   |        |          |
| 利用資金       |             |               |        |          |
| ④ 公的資金導入率  | 長・短公的借入金の合計 | 79,900,000    | 11.9%  | 50～80%   |
|            | 長・短借入金の合計   | 668,999,631   |        |          |
| ⑤ 支払利息倍率   | 帰属収入        | 1,094,603,056 | 87.7倍  | 40～60倍   |
|            | 借入金等利息      | 12,483,118    |        |          |
| 内部留保       |             |               |        |          |
| ⑥ 自己資金構成比率 | 自己資金        | 2,616,380,410 | 66%    | 60～80%   |
|            | 総資産         | 3,963,221,142 |        |          |
| ⑦ 基本金比率    | 基本金         | 3,414,869,499 | 652.5% | 80～100%  |
|            | 基本金要組入額     | 523,389,809   |        |          |
| 成長性        |             |               |        |          |
| ⑧ 総資産増加率   | 当年度資産合計     | 3,963,221,142 | 104.3% | 110～120% |
|            | 前年度資産合計     | 3,799,653,069 |        |          |
| ⑨ 自己資金増加率  | 当年度自己資金     | 2,616,380,410 | 97%    | 110～120% |
|            | 前年度自己資金     | 2,698,184,444 |        |          |
| ⑩ 帰属収入増加率  | 当年度帰属収入     | 1,094,603,056 | 114.8% | 110～120% |
|            | 前年度帰属収入     | 953,424,751   |        |          |

# 総合財務安全性分析レーダーチャート（平成 26年度）

学校法人 鉄蕉館  
実績分析



## X I. 教職員名簿（平成 27 年 3 月 31 日現在）

### 1) 教員

| 教員グループ         | 職 名 | 氏 名     | 備 考                           |
|----------------|-----|---------|-------------------------------|
|                | 学 長 | クローズ 幸子 | 研究所長・総合研究所運営<br>委員長           |
| 基礎・専門基礎        | 教 授 | 米林 喜男   | 図書館長・<br>図書・情報管理委員長<br>評価委員長・ |
|                | 准教授 | 足立 智孝   | 研究倫理審査検討委員長                   |
|                | 准教授 | 大石 昌也   |                               |
|                | 助 教 | 宮城 孝満   |                               |
| 基礎看護学          | 教 授 | 休波 茂子   | 教務・カリキュラム委員長                  |
|                | 講 師 | 佐久間 夕美子 |                               |
|                | 講 師 | 渡邊 八重子  |                               |
|                | 助 教 | 有家 香    |                               |
|                | 助 教 | 鵜沢 淳子   |                               |
|                | 助 手 | 中川 泰弥   |                               |
| 成人・老年看護学       | 教 授 | 小幡 光子   | FD(SD)・ユニフィケーション<br>支援委員長     |
|                | 教 授 | 深谷 智恵子  | 保健衛生安全管理委員長                   |
|                | 准教授 | 新居 富士美  |                               |
|                | 准教授 | 眞野 響子   | 臨地実習委員長                       |
|                | 講 師 | 小林 美奈子  |                               |
|                | 講 師 | 佐藤 真由美  |                               |
|                | 助 教 | 高橋 道明   |                               |
|                | 助 手 | 鈴木 玲子   |                               |
|                | 助 手 | 小坂 玲音   |                               |
|                | 助 手 | 宮崎 俊一郎  |                               |
| 精神・在宅看護学       | 教 授 | 太田 知子   | 進路支援委員長                       |
|                | 教 授 | 新田 静江   | 入試委員長・<br>国際交流委員長             |
|                | 講 師 | 栗栖 千幸   |                               |
|                | 助 教 | 中島 洋一   |                               |
|                | 助 教 | 松丸 直美   |                               |
|                | 助 教 | 柚山 香世子  |                               |
| ウィメンズヘルス・小児看護学 | 教 授 | 恵美須 文枝  | 副学長・<br>大学院設置準備室長・<br>広報委員長   |
|                | 教 授 | 吉川 一枝   | 学生委員長                         |
|                | 准教授 | 東 晴美    |                               |
|                | 講 師 | 久保 幸代   |                               |
|                | 助 教 | 金澤 貴子   |                               |
|                | 助 手 | 吉野 妙子   |                               |

|        |     |        |   |
|--------|-----|--------|---|
| マクロ看護学 | 教授  | 宮本 眞巳  | 地域連携室長・<br>地域連携室運営委員長・<br>人権委員長・<br>研究支援委員長 |
|        | 准教授 | 平山 香代子 |   |
|        | 講師  | 工藤 由美  |   |
|        | 助教  | 遠藤 寛子  |   |

## 2) 事務職員

| 所 属     | 職 名  | 氏 名    | 備 考        |
|---------|------|--------|------------|
|         | 事務局長 | 江羅 茂   |            |
| 管理部     | 部 長  | 同上     | 兼務         |
| 管理部 総務課 | 課 長  | 同上     | 兼務         |
|         | 係 長  | 羽田 洋一  | 広報・管理担当    |
|         | 係長代理 | 木内 千津子 | 人事担当       |
|         |      | 小原 美乃里 | 広報担当       |
|         |      | 栗原 佑人  | 庶務担当       |
|         |      | 橋本 昂一郎 | 研究・人事担当    |
|         |      | 平川 弘一  | 庶務・研究担当    |
|         |      | 藤枝 悦子  | 秘書担当       |
| 管理部 学務課 | 課 長  | 江羅 茂   | 兼務         |
|         | 係長代理 | 碓井 豊一  | 教務担当       |
|         | 係長代理 | 宮本 聖子  | 入試担当       |
|         |      | 松村 広典  | 学生担当       |
|         |      | 安田 紫音  | 教務担当       |
|         |      | 立野 幸子  | 図書館司書      |
| 財務部     | 財務部長 | 堀 強    |            |
| 財務部 財務課 | 財務課長 | 同上     | 兼務         |
|         | 課長補佐 | 間宮 庄治  | 施設担当       |
|         | 課長補佐 | 庄司 良幸  | 予算・執行・決算担当 |
|         |      | 久古 博之  | 予算・執行・決算担当 |



学校法人 鉄蕉館

2014（平成 26）年度

亀田医療大学年報

平成 27 年 9 月 30 日発行

亀田医療大学（編集・発行）

〒296 - 0001 千葉県鴨川市横渚 462 番地

TEL : 04 - 7099 - 1211（代）

FAX : 04 - 7099 - 1327